

しんじょう さかた とざわ たちかわ
新庄酒田道路(戸沢～立川)

計画段階評価
第2回 説明資料

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 第1回地域の意見聴取結果の確認
3. 課題の再整理
4. 政策目標の設定
5. 対応方針（ルート帯案）の検討
6. 第2回地域の意見聴取の方法

令和2年10月23日
国土交通省 東北地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-2. 前回(第1回)審議内容

■第26回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日：令和元年9月30日(月)開催

- 主な議事：①地域の状況と課題
 ②道路交通の状況と課題
 ③政策目標(案)の設定
 ④地域からの意見聴取(第1回)の方法

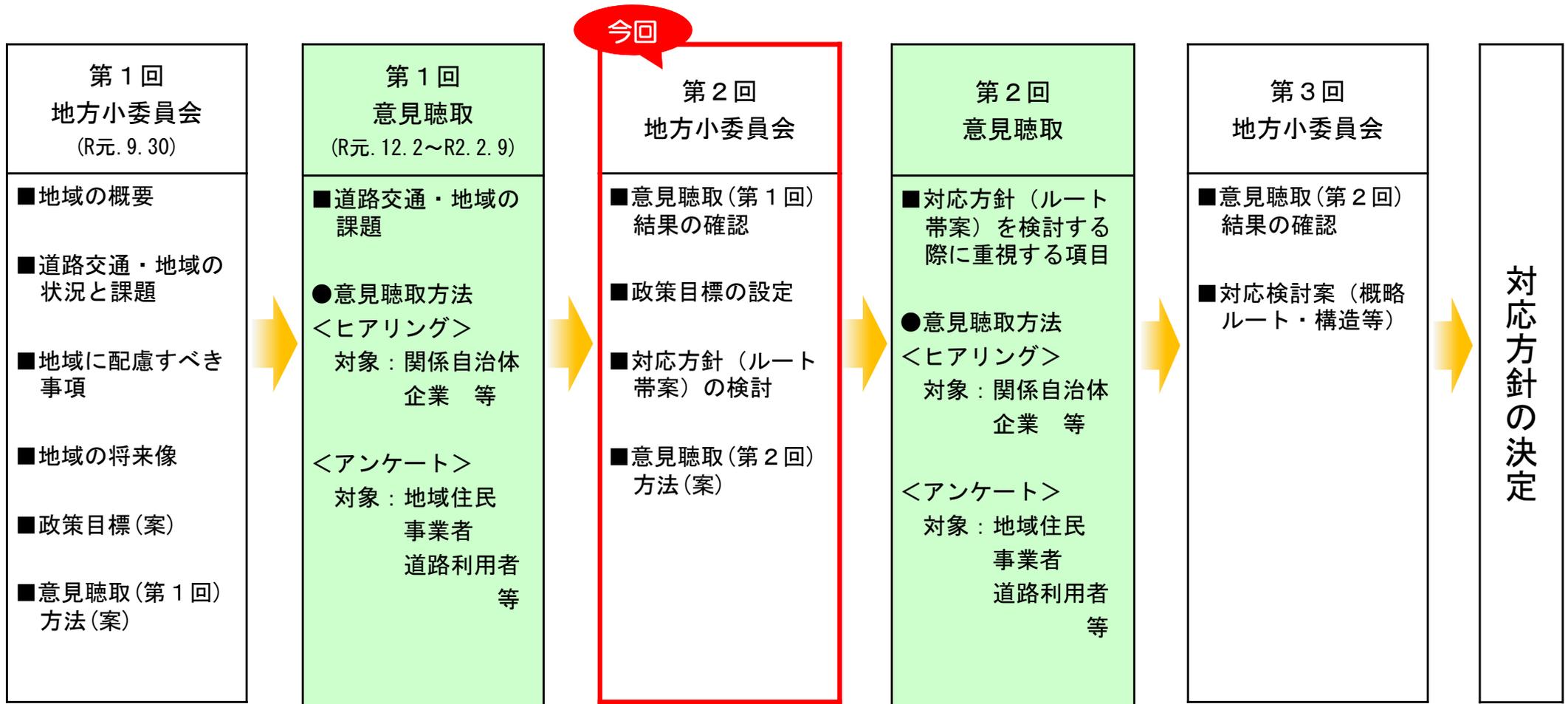
【表1】前回審議における主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に当該区間を利用されている方へアンケート等の意見聴取が行われるように、交通特性等を踏まえ、進めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象区間の利用交通の約3割は戸沢村・庄内町の発着であり、残る約7割が通過交通となっている。(H22道路交通センサスによる推計結果) ・住民・道路利用者アンケートの回答が、全戸配布した戸沢村・庄内町で約3割、残り7割が酒田市・新庄市をはじめとした通過者から得られた。

1-3. 今後の計画段階評価の進め方(案)

◆ 地域住民・事業者・道路利用者の意見を聞きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

計画段階評価



地方小委員会

2. 第1回地域の意見聴取結果の確認

2-1. 地域の意見聴取(第1回)の実施内容

◆ 地域の意見聴取(第1回)は、地域住民・事業者・道路利用者へのアンケート調査、および関係団体へのヒアリング調査を実施。

1. 意見聴取期間

令和元年12月2日～令和2年2月9日

2. 意見聴取の対象

【表1】アンケート調査による意見聴取の対象

調査対象者		調査手法・規模
地域住民	・ 戸沢村、庄内町	・ 全戸を対象とした郵送配布 (8,560世帯)
沿線住民	・ 新庄市、酒田市	・ 抽出による郵送配布 (8,537世帯)
事業所等	・ 当該区間を利用する企業 ・ 沿線の製造業事業所	・ 国道47号利用企業への郵送配布 (133事業所) ・ 戸沢村、庄内町の製造業者への 郵送配布(20事業所)
道路利用者	・ 広域の道路利用者	・ Web ・ 留置き(市町村役場・文化施設・ 道の駅等)

※留置アンケートについては、以下の施設にアンケート調査票・回収箱を常設した。

国交省：酒田河川国道事務所、新庄河川事務所

山形県：庄内総合支庁、最上総合支庁

戸沢村：村役場、ぼんぼ館、芭蕉ライン観光、白糸の滝ドライブイン

庄内町：町役場、立川総合支所、庄内町図書館

新庄市：市役所、文化会館、市民プラザ、図書館、わくわく新庄

酒田市：市役所、中央公民館、八幡総合支所、平田総合支所、

松山総合支所、山居倉庫

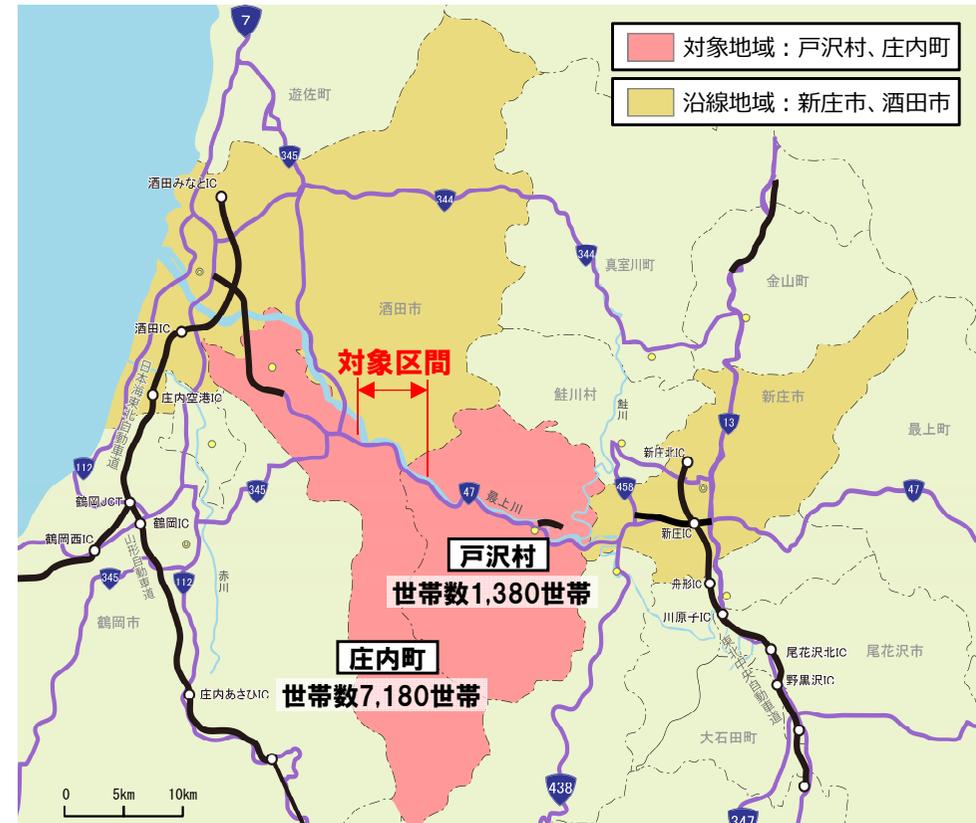
鶴岡市：市役所、羽黒庁舎、藤島庁舎、にこ・ふる

三川町：町役場

道の駅：とざわ、しょうない

空港：庄内空港

＜アンケート配布範囲＞



【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

関連団体ヒアリング調査：25社・団体（訪問調査）		
・自治体（1町）	・警察機関（2団体）	・観光協会（2団体）
・山形県（3部署）	・製造業者（7社）	・学校（3団体）
・医療機関（2団体）	・物流業者（4社）	・消防機関（1団体）

2-2. 地域の意見聴取(第1回)のアンケート回収状況

- ◆ 地域住民へのアンケートは、庄内町・戸沢村に全戸配布、酒田市・新庄市で抽出配布を行った他、Webアンケート・留置アンケートを実施。郵送による回収数は4,799枚、回収率は14.0%となった。
- ◆ 事業者へのアンケートは、対象区間の利用企業、庄内町・戸沢村の主要企業を対象に行い、回収数は72枚、回収率は47.1%となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

分類	回収方法	配布数	回収数	回収率
住民・道路利用者	郵送	34,194枚	4,799枚	14.0%
	回収箱	—	477枚	—
	Web	—	484枚	—
	合計	34,194枚	5,760枚	—
事業者	合計	153枚	72枚	47.1%

※住民アンケートには回答ハガキを2枚同封
回収数・回収率は、配布したアンケート調査票の総数による

2-3. 地域の意見聴取(第1回)の実施状況(アンケート調査)

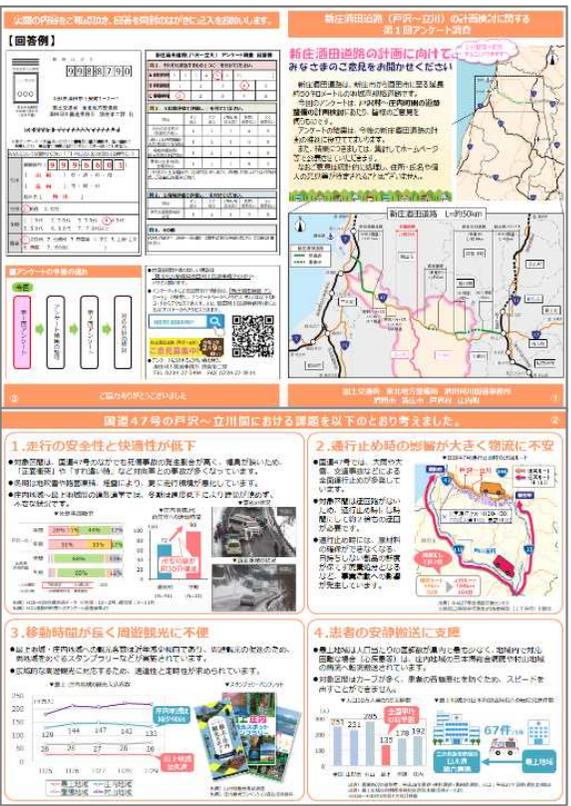
◆ 地域住民・事業者・道路利用者に対して、地域が抱える課題についてアンケート調査を実施。

【表1】地域意見聴取内容

- 回答者属性(年齢、職業、性別、住所)
- 問1 国道47号の利用状況(目的、頻度、手段)
- 問2 地域課題について
- 問3 新たな道路整備について
- 問4 その他意見・要望

【図3】新聞広告

【図4】自治体広報・HP



【写真1】アンケート留置状況



【図1】調査票

【図2】Webアンケート

＜戸沢村役場＞

＜道の駅しょうない＞

2-3. 地域の意見聴取(第1回)の実施状況(ヒアリング調査)

◆ 沿線自治体等の関係団体に対して、地域が抱える課題についてヒアリング調査を実施。

【表1】地域意見聴取内容

- ・事業概要について
- ・国道47号(戸沢～立川)の利用状況について
- ・地域課題について
- ・その他意見・要望

【写真1】山形県 農林水産部 【写真2】株式会社北越マテリアル
新庄工場



【写真3】酒田海陸運送株式会社



【表2】ヒアリング調査の対象

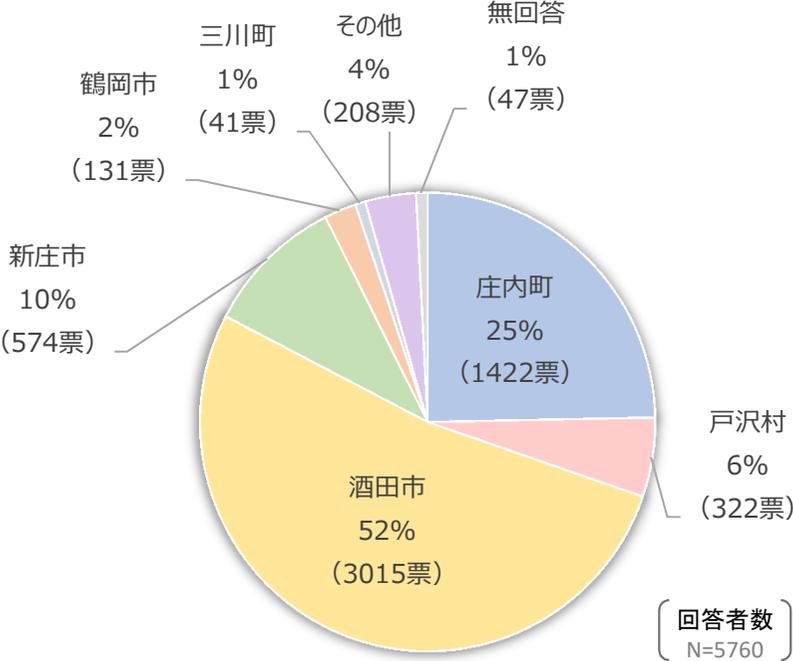
分類	NO	名称	所在地
自治体	1	庄内町	庄内町
山形県	2	山形県 港湾事務所	酒田市
	3	山形県 農林水産部 林業振興課	山形市
	4	山形県 環境エネルギー部 エネルギー政策推進課	山形市
観光協会	5	最上地域観光協議会	新庄市
	6	庄内町観光協会	庄内町
製造業者	7	有限会社 舟形マッシュルーム	舟形町
	8	株式会社 マルハチ	庄内町
	9	株式会社 大商金山牧場	庄内町
	10	株式会社 エコー	酒田市
	11	株式会社 エルデック 北港事業所	酒田市
	12	サミット酒田パワー 株式会社	酒田市
	13	株式会社 北越マテリアル 新庄工場	新庄市
物流業者	14	日本通運 株式会社 酒田支店	酒田市
	15	酒田海陸運送 株式会社	酒田市
	16	東邦運輸 株式会社	酒田市
	17	東北第一物流 株式会社	酒田市
医療機関	18	山形県立新庄病院	新庄市
	19	日本海総合病院	酒田市
学校	20	羽黒高等学校	鶴岡市
	21	酒田南高等学校	酒田市
	22	新庄東高等学校	新庄市
警察機関	23	庄内警察署	庄内町
	24	新庄警察署	新庄市
消防機関	25	最上広域市町村圏事務組合消防本部	新庄市

2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性)

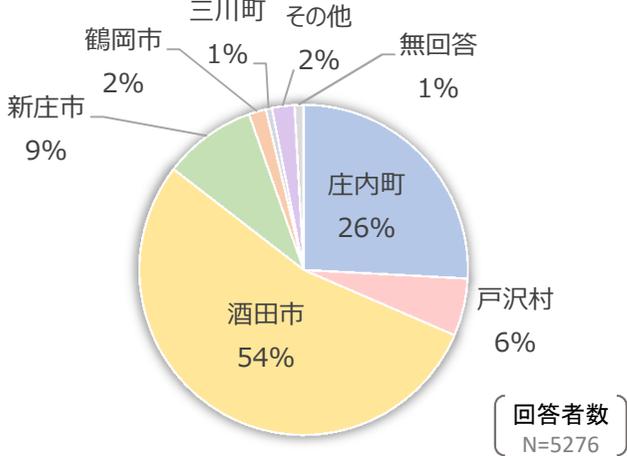
- ◆ 居住地別回収状況については、約3割が対象地域の庄内町・戸沢村からの回答となっている。
- ◆ また、沿線地域からも一定の回答を得ることができ、特に酒田市からの回答が約5割を占める。
- ◆ 郵送・留置きに比べてWEBアンケートでは、居住地が「鶴岡市」や「その他」の割合が高く、沿線及び周辺地域に加えて、より広域的なエリアから回答が集まっている。

質問 あなたについてお聞かせください。(回答者の属性:地域区分)

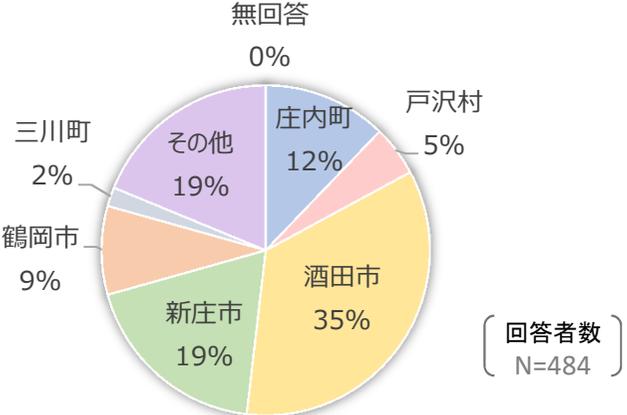
【図1】回答者居住地分布



【図2】回答者居住地分布(郵送, 留書き)



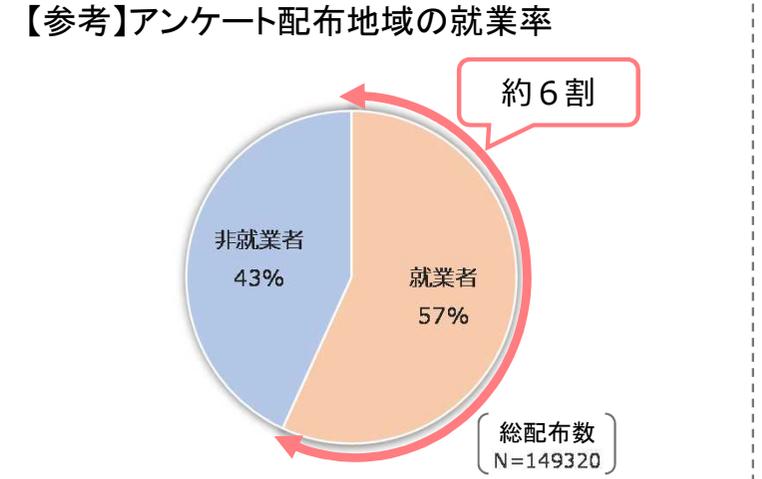
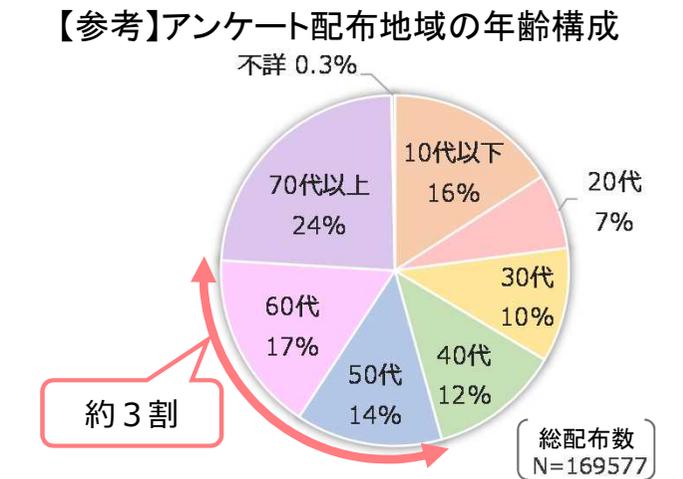
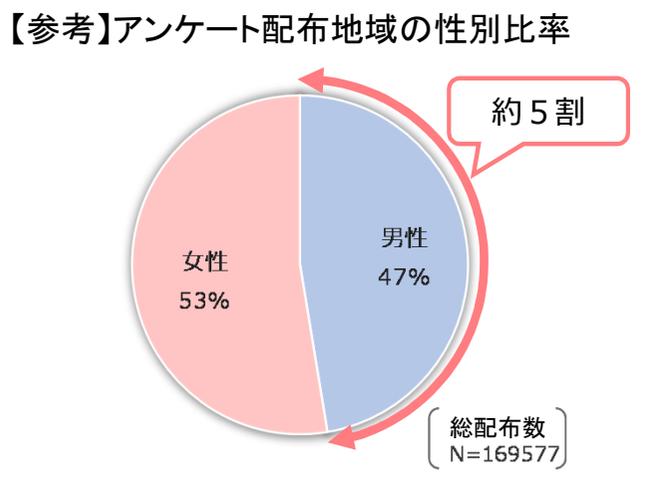
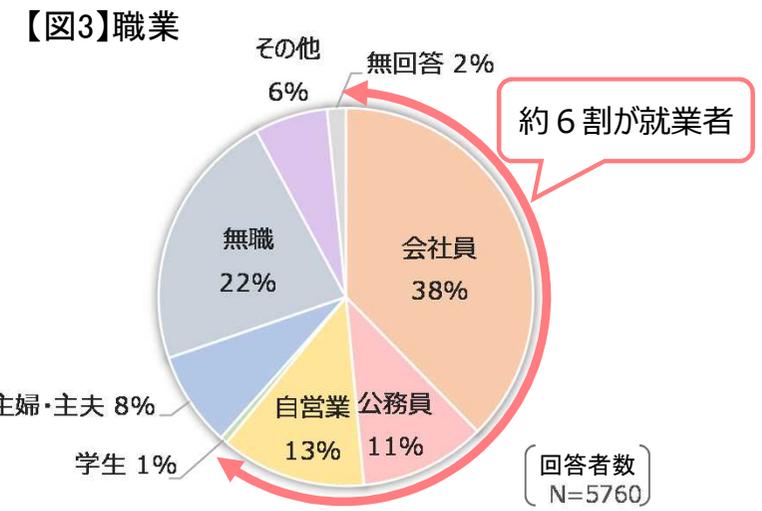
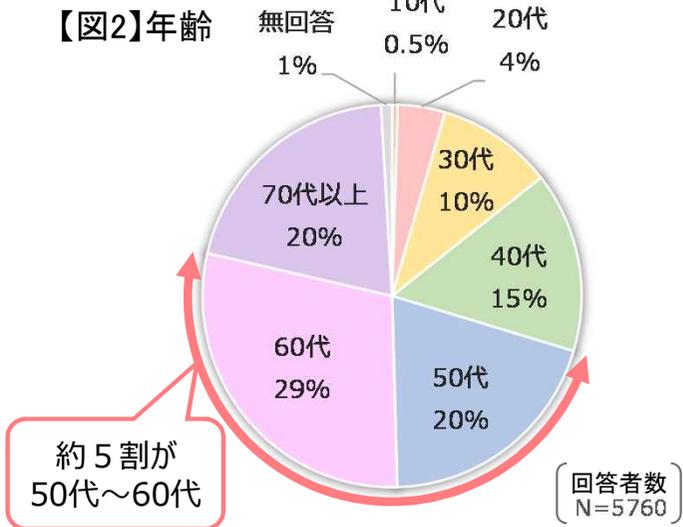
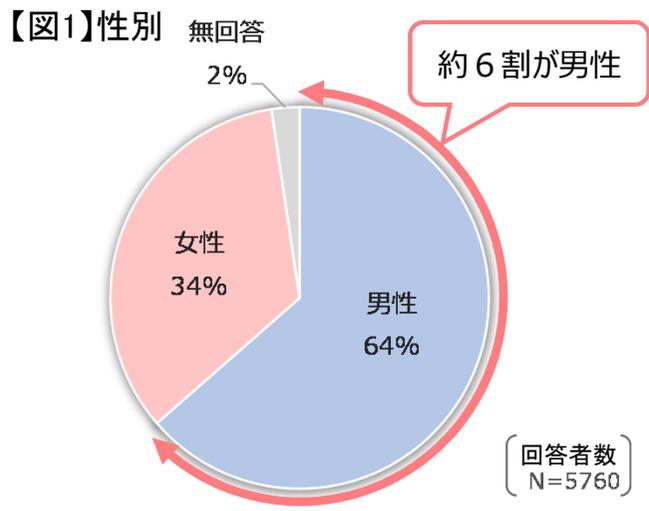
【図3】回答者居住地分布(WEBアンケート)



2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性)

- ◆ 性別は男性が約6割、年齢は50代～60代が約5割を占め、対象地域の統計データと比べてやや高い。
- ◆ 職業は、就業者の回答が約6割を占め、対象地域の就業率とほぼ同程度。

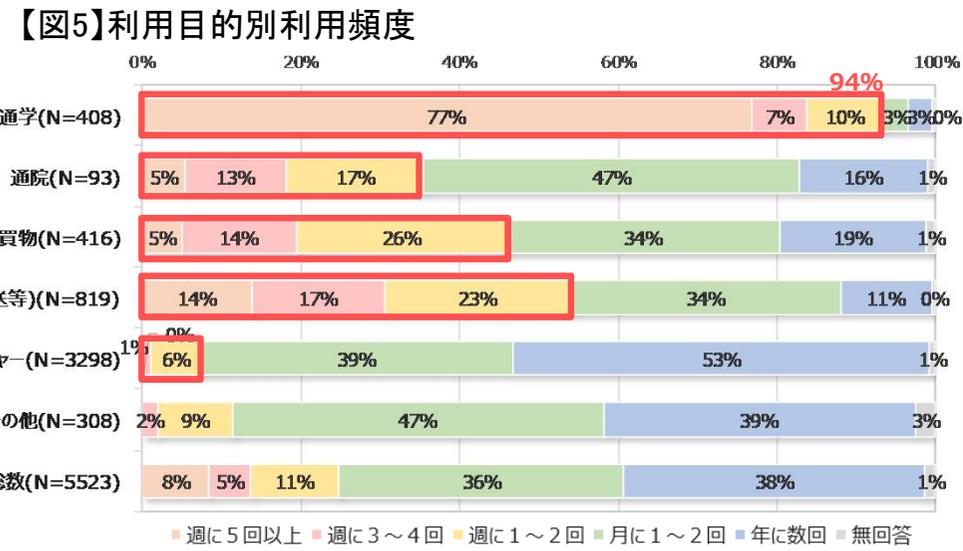
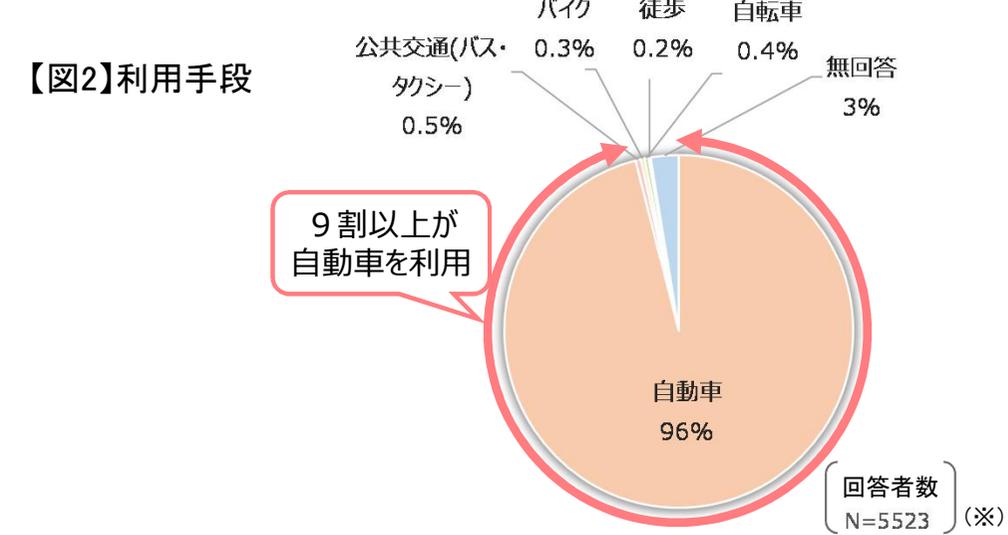
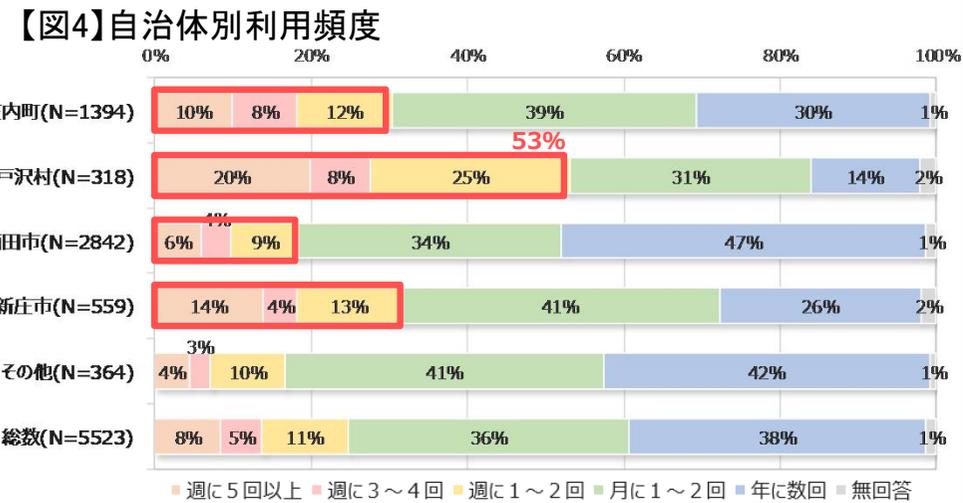
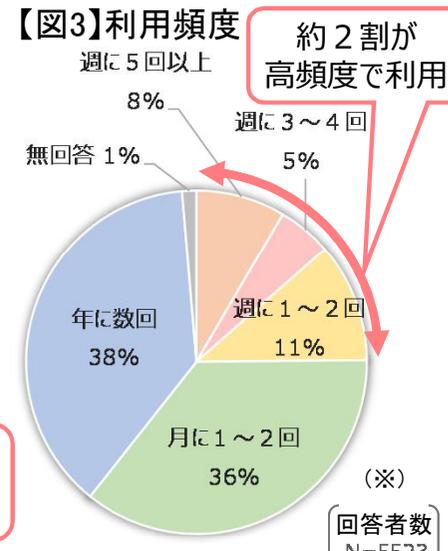
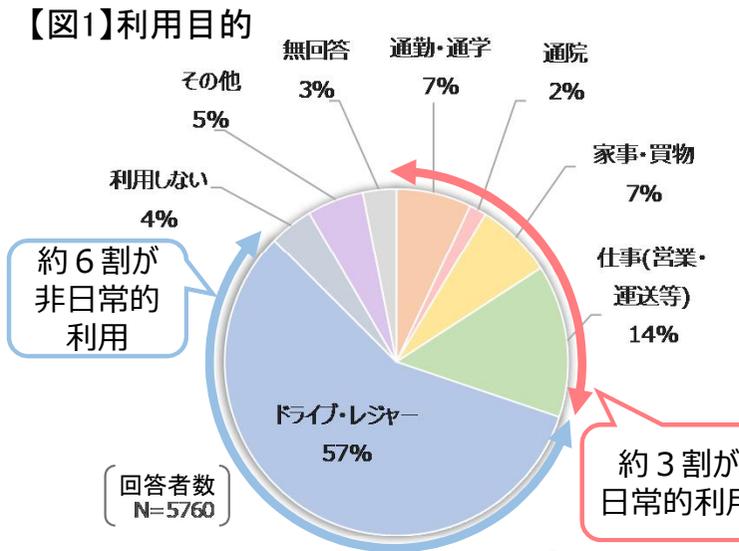
質問 あなたについてお聞かせください。(回答者の属性:性別、年齢、職業)



2-4. 住民等への意見聴取の結果(道路利用)

- ◆ 日常的な利用目的が約3割を占め、利用手段は「自動車」が大半を占めている。
- ◆ 利用頻度は週数回以上の利用が約2割を占め、特に沿線地域の戸沢村で利用頻度が高い。
- ◆ 「通勤・通学」などの日常的な利用目的では、利用頻度が高くなっている。

問1 国道47号の戸沢～立川間(対象区間)の道路利用について、お伺いします。



※利用手段と利用頻度は、利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題)

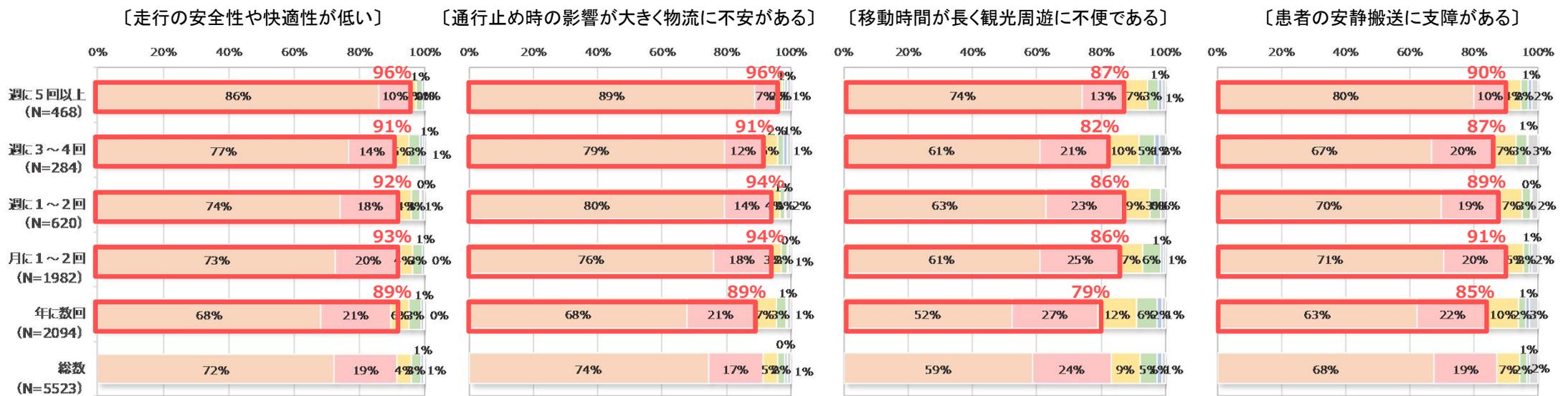
- ◆ 提示した課題全てに、8割以上から課題と感じている回答が得られた。
- ◆ また、道路の利用頻度が高いほど、提示した課題に対して共感が高くなる傾向。
- ◆ 道路の利用頻度が低めの場合でも、課題認識は高い傾向。

問2 国道47号の戸沢～立川間(対象区間)の課題について、「そう思う」～「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】地域の課題



【図2】利用頻度別集計



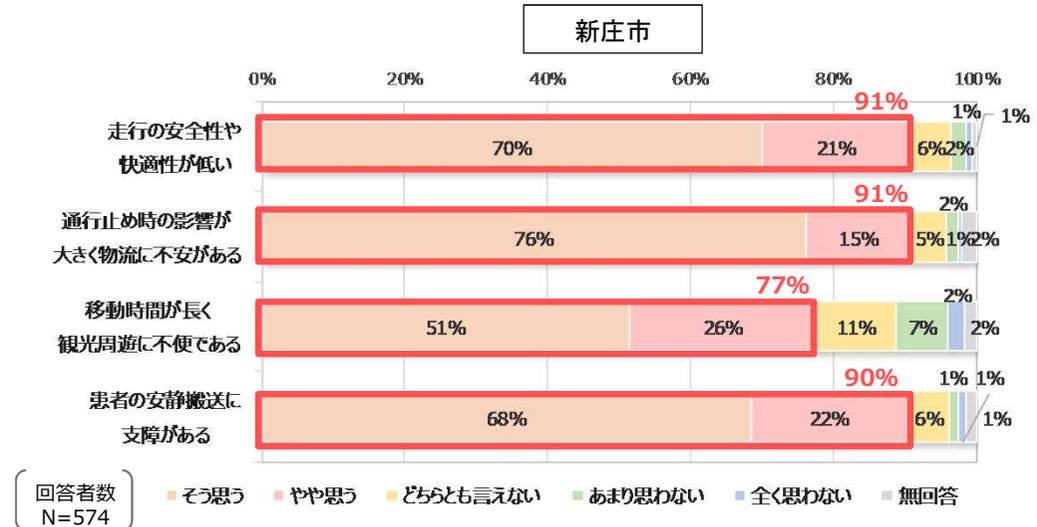
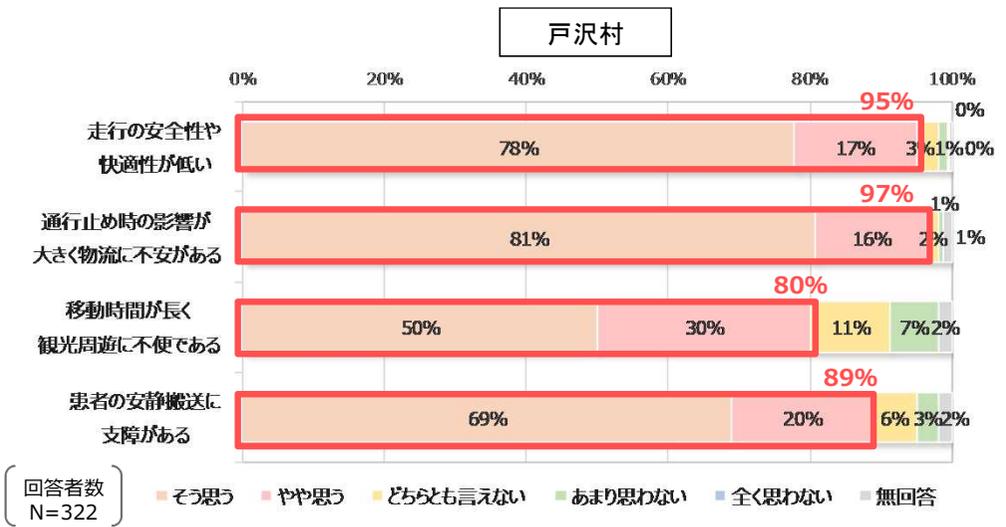
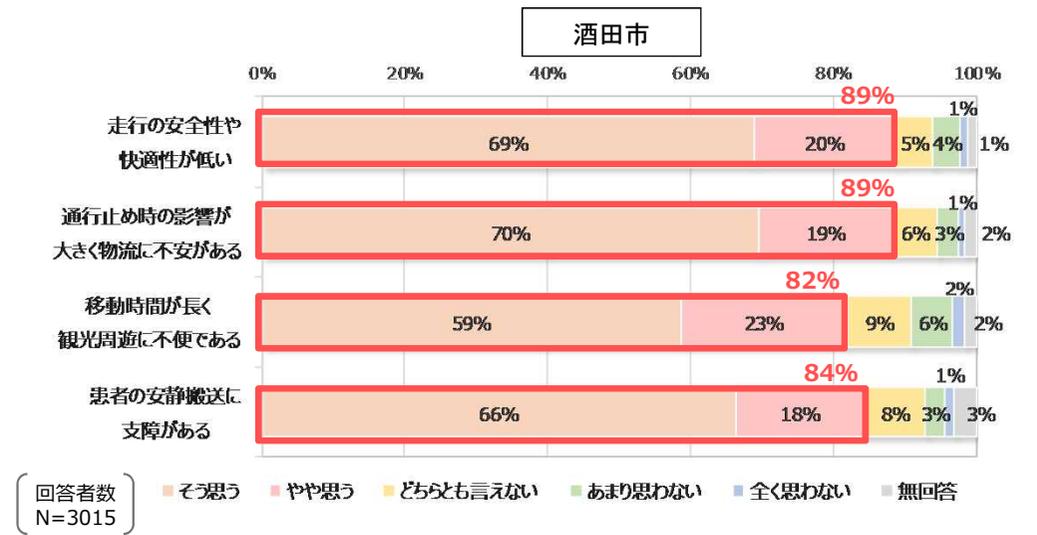
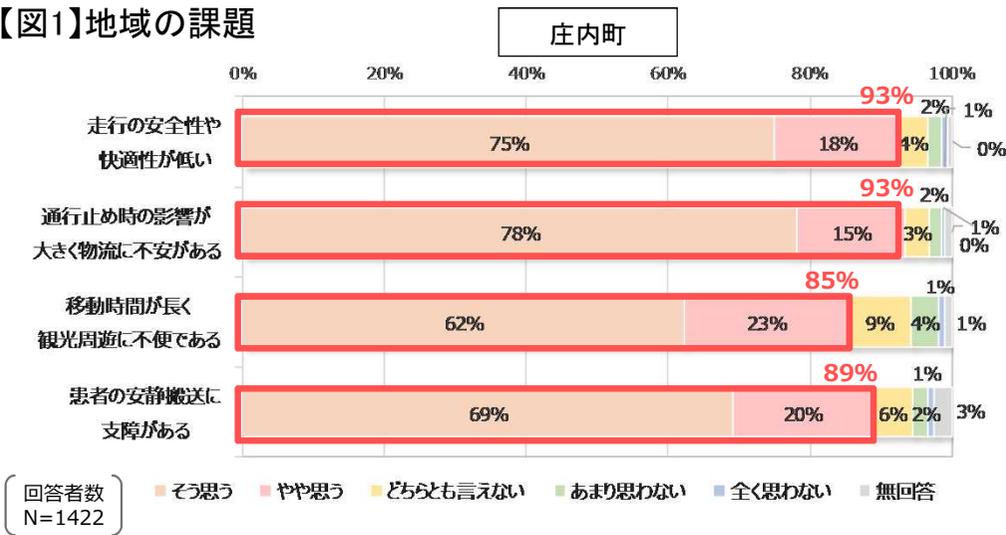
※利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題)

- ◆ 自治体別に見ても、提示した全ての課題に対しておおむね8割以上が課題と感じている。
- ◆ 特に戸沢村で「走行の安全性や快適性が低い」、「通行止め時の影響が大きく物流に不安がある」と感じている割合が高い。

問2 国道47号の戸沢～立川間(対象区間)の課題について、「そう思う」～「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】地域の課題



2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題)

- ◆ 課題に対する自由意見について、約7割を「4つの地域課題」が占めている。
- ◆ 交通環境については、道路構造や冬期環境に起因する意見、物流や観光面では庄内地域と県内内陸部・宮城県のアクセシビリティに関する意見、医療面では速達性・安定性に関する意見をいただいた。

問2 ○を付けた主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

【表1】課題に対する自由意見(回答者数1,638人)

約7割が地域課題に関する意見

分類		主な意見
地域課題 【1,267件】	交通環境 【1,219件】	<ul style="list-style-type: none"> 特に降雪時、道幅が狭くなり、凍結しやすいので、大変危険。 道路幅が狭いため、大型車とすれ違う時に恐怖を感じる。 山形や仙台に行く際は必ず通るが、所要時間がかかるため、億劫になり外出をやめることもある。 冬期間は特に到着時間が読めず、苦労している。 通行止め時は、迂回路となる国道112号が遠くて大変。片側2車線化が近くで迂回出来る道路が必要だと感じる。
	物流・産業 【14件】	<ul style="list-style-type: none"> 国道47号は、太平洋側地域との物流や災害時の物資輸送の面で重要な路線である。 通行規制時の迂回路の国道112号や国道344号は迂回距離が長く、どちらも山岳道路で冬季は通行の不安が大きい
	観光 【22件】	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドを含め、自動車による県内観光周遊が可能となるような安全快適な道路整備を希望する。 事故や災害時に通行止めになると庄内～内陸間の移動に非常な時間を要し、観光面で大きなマイナスになる。
	医療 【12件】	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送の際、傷病者の病状悪化を抑えるために、カーブや凸凹した舗装面の手前で速度を減速する必要がある。 減速が多ければ多いほど病院到着、医師引継ぎまで時間を要することとなる。
その他 【644件】	整備への要望 【191件】	<ul style="list-style-type: none"> カーブが多く、特に冬場はアイスバーン等になり、神経を使うため、一日も早い完成を願う。 事業区間が短すぎたり、開通時期がバラバラであったりするため、本来担うべき「早く安全に移動する」役割が果たせていないと感じる。高屋道路前後の区間も含めて新庄まで一気に事業化するべきだと思う。
	整備方針 【118件】	<ul style="list-style-type: none"> 片側1車線のため、低速車両の追い越しができない。2車線追越可整備を求む。 冬期の路面凍結がひどく、重大事故の危険性を感じたことが数回あるので、トンネル区間を増やしてほしい。
	維持管理 【78件】	<ul style="list-style-type: none"> 冬期は降雪によって道路状況が悪く、大型車両の通行に支障がある。 年々車両の大型化が進み、道路が傷んでいる。
	防災 【42件】	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の重要な主要道路である。早期実現が必須だと感じる。 災害時等において、代替ルートがないと心配。
	日常生活 【30件】	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の通勤が大変。 開通すれば、レジャー、買い物回数が増えると思う。
	その他 【185件】	<ul style="list-style-type: none"> ほとんど通行しないのでわからない。 いつも工事をしているイメージがあり不便。

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

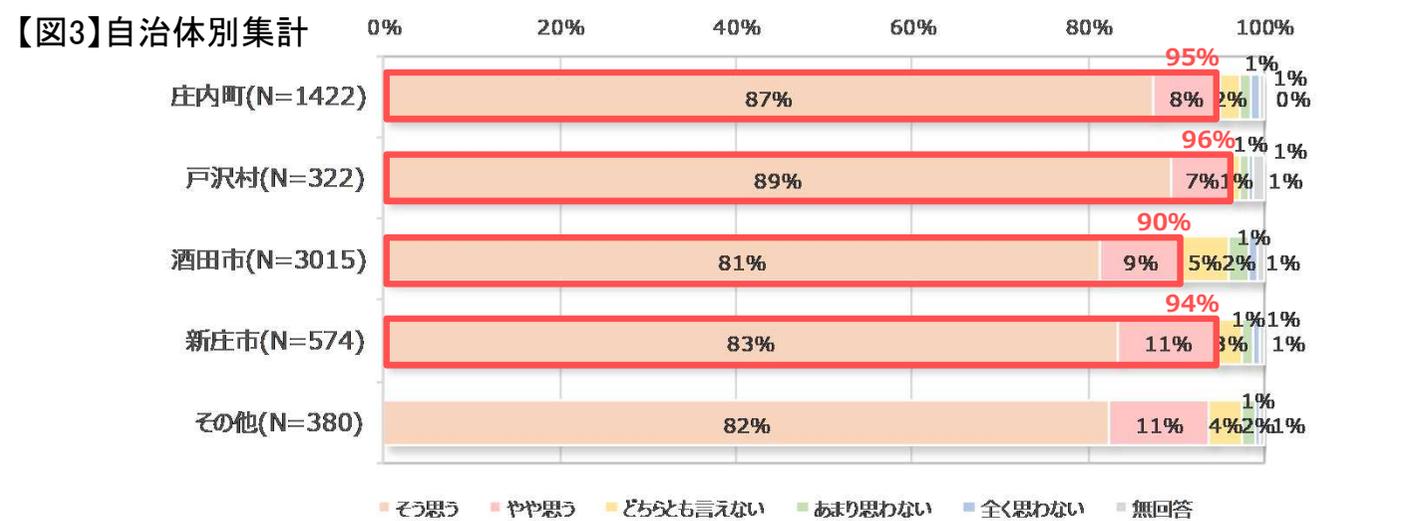
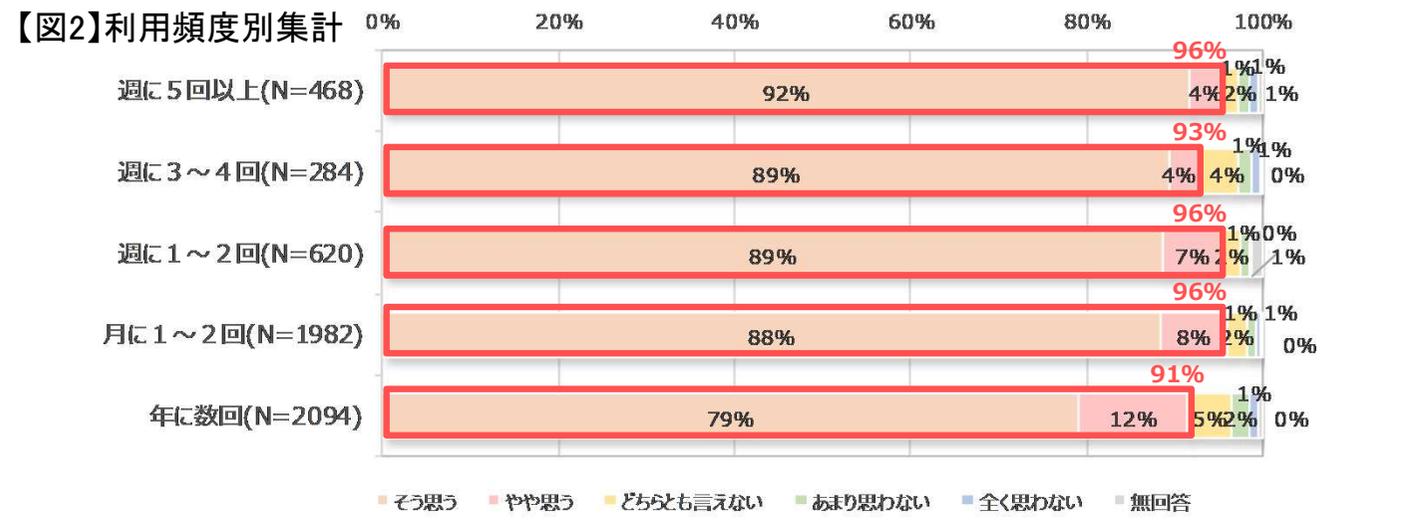
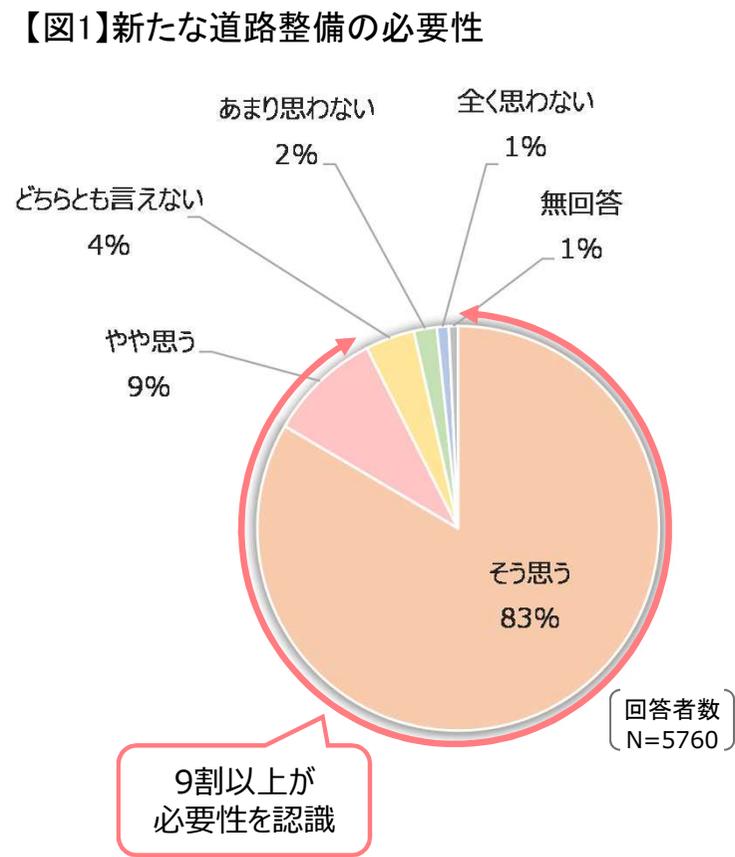


地域課題に関する回答が約66%【地域課題 (1,267件) / 回答者数 合計 (1,911件)】

2-4. 住民等への意見聴取の結果(新たな道路整備)

- ◆ 地域の課題を解決するための新たな道路整備について、9割以上が必要であると感じている。
- ◆ 道路の利用頻度別に見ても、年に数回以上の利用者の全てにおいて9割以上が必要であると感じている。
- ◆ 自治体別に見ると、特に対象地域である戸沢村・庄内町で「そう思う」への回答が多い。

問3 地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要だと思いますか? 「そう思う」~「全く思わない」の5段階で評価してください。



2-4. 住民等への意見聴取の結果(意見・要望)

- ◆ 対象区間や周辺道路への意見・要望については、提示した道路交通課題や地域課題への同意の意見が約3割を占める。
- ◆ その他の意見・要望では、早期整備要望等の「整備への要望」に関する意見が多く、「整備方針」への意見も見られた。

問4 その他、国道47号(新庄～酒田間)に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

【表1】課題に対する自由意見(回答者数2,340人)

約3割が地域課題への同意意見

分類		主な意見
地域課題 【744件】	交通環境 【649件】	<ul style="list-style-type: none"> カーブが多く、狭いので見通しが悪い。特に冬は凍結し危険である。 冬になるととても怖い道路。道幅も狭く、前に低速車両がいるとスピードも出せない。 国道47号の通行止めは地域にとって重大な交通障害。天候、自然に対して信頼向上が必要。 交通障害(事故、災害)が発生した場合の迂回路がない為、冬期間は利用しにくい。 この区間の通行時間の長さによって、山形や仙台に行く際に時間がかかりすぎる。
	物流・産業 【36件】	<ul style="list-style-type: none"> 安定した地域の生活と物流を支えるには、整備が必要な道路である。早期に事業を進めていただきたい。 新しい道路が全線開通すれば経済活動も活発になると思う。
	観光 【57件】	<ul style="list-style-type: none"> 舟下り、最上川と観光名所があるので、道路の環境整備をしっかりとほしい。 酒田港(大型客船)活用の上で重要だと思う。
	医療 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> 立川～戸沢間に迂回路がないため、通行止め時は救急車も通れず大変だと思う。
その他 【2,002件】	整備への要望 【1,137件】	<ul style="list-style-type: none"> 新庄酒田道路の早期全線開通を望む。 最上川と山の景色は素晴らしいので、新しい道路を作っても、その景観を残してほしい。
	整備方針 【298件】	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に迂回路となるような並行路線の新しい道路が必要だと思う。 豪雪などの自然災害が多いので、新しい道路はトンネル主体が良いと思う。
	防災 【55件】	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難、物資の運搬等、内陸部と庄内地域をつなぐ道路は不可欠。
	日常生活 【36件】	<ul style="list-style-type: none"> 今後は人口減少で生活することが困難になってくることが予想され、新庄酒田道路は地域で暮らす人々、働く人々にとって、なくてはならない道路になると思う。一日も早く全線開通することを心より願っている。 通行止めになったら仕事に行けない。
	反対意見 【11件】	<ul style="list-style-type: none"> 今ある国道を維持してゆく方向に税金を使ってほしい。 人口が減少しているから、あまり新しい道路は必要ない。
	その他 【465件】	<ul style="list-style-type: none"> 新しい道路を整備する際は、ぜひ環境への配慮をお願いしたい。 開通済み区間はとても快適である。

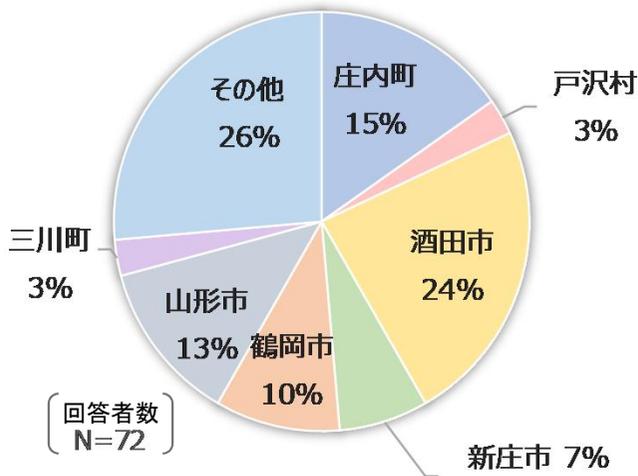
※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

2-5. 事業者への意見聴取の結果(属性・道路利用)

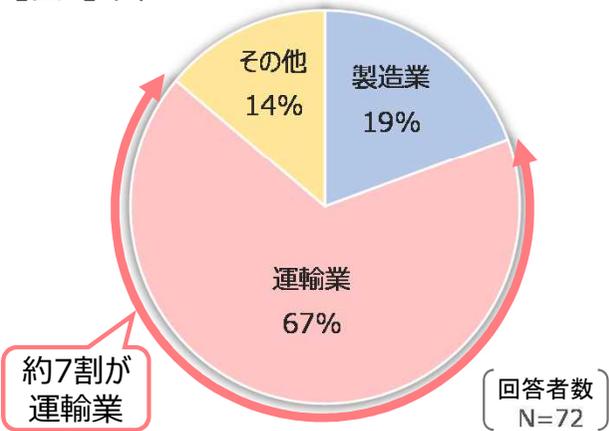
- ◆ 回答者の業種内訳は「運輸業」が約7割となっており、利用目的は「運送・運搬」が約8割となっている。
- ◆ 利用頻度は週に数回以上の利用が約9割を占め、住民アンケート調査結果と比較して利用頻度が高い。

質問 貴事務所についてお聞かせください。

【図1】所在地

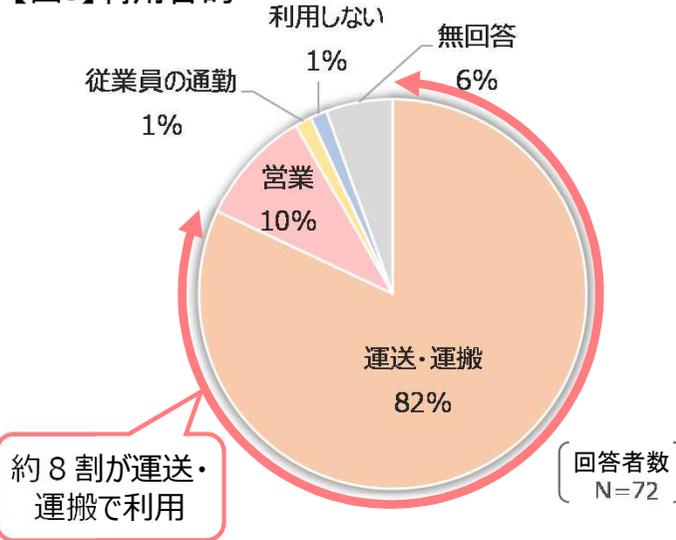


【図2】業種

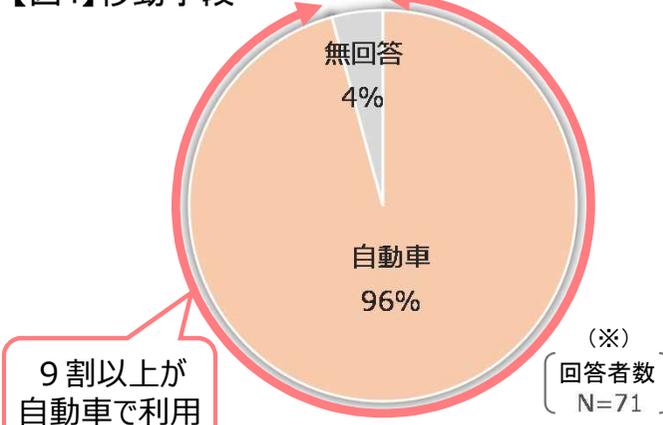


問1 国道47号の戸沢～立川間(対象区間)の道路利用について、お伺いします。

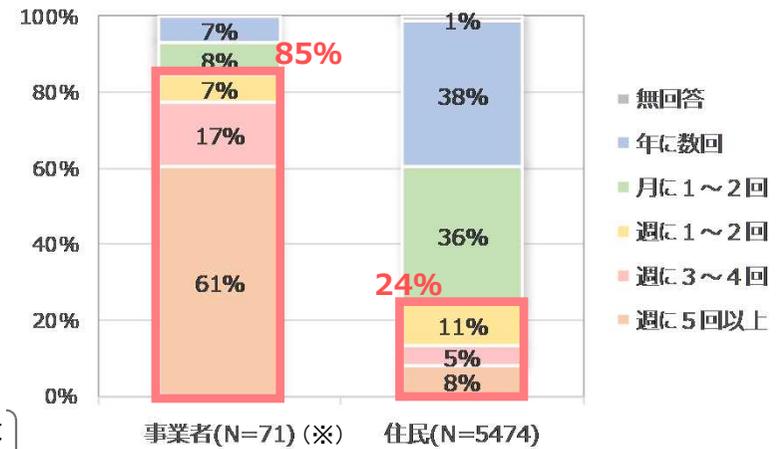
【図3】利用目的



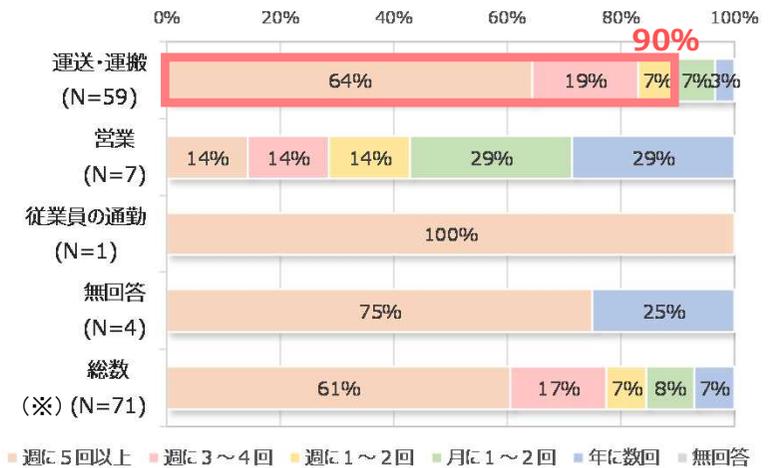
【図4】移動手段



【図5】利用頻度



【図6】利用目的別利用頻度



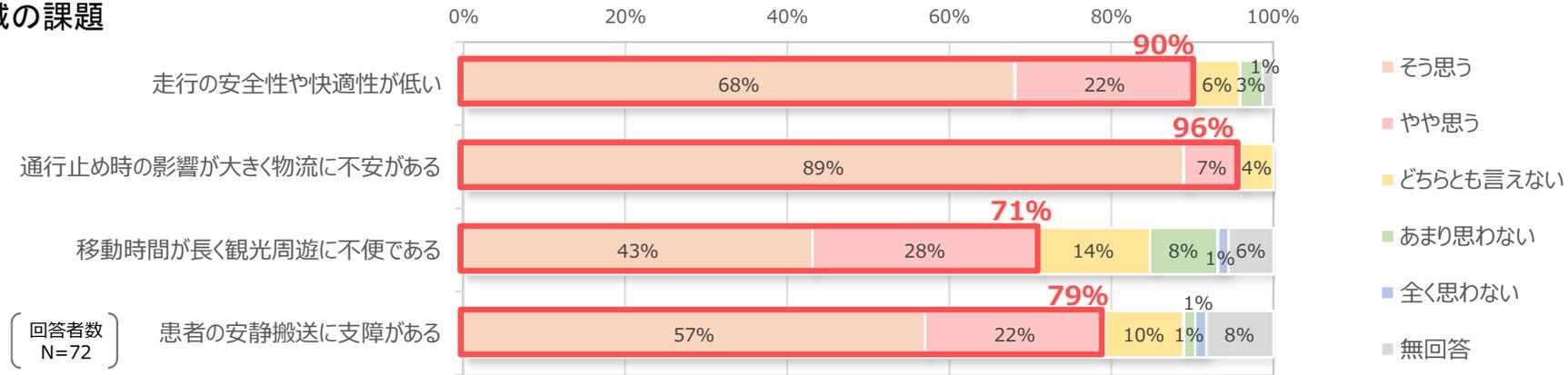
※利用頻度・移動手段は利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

2-5. 事業者への意見聴取の結果(地域課題)

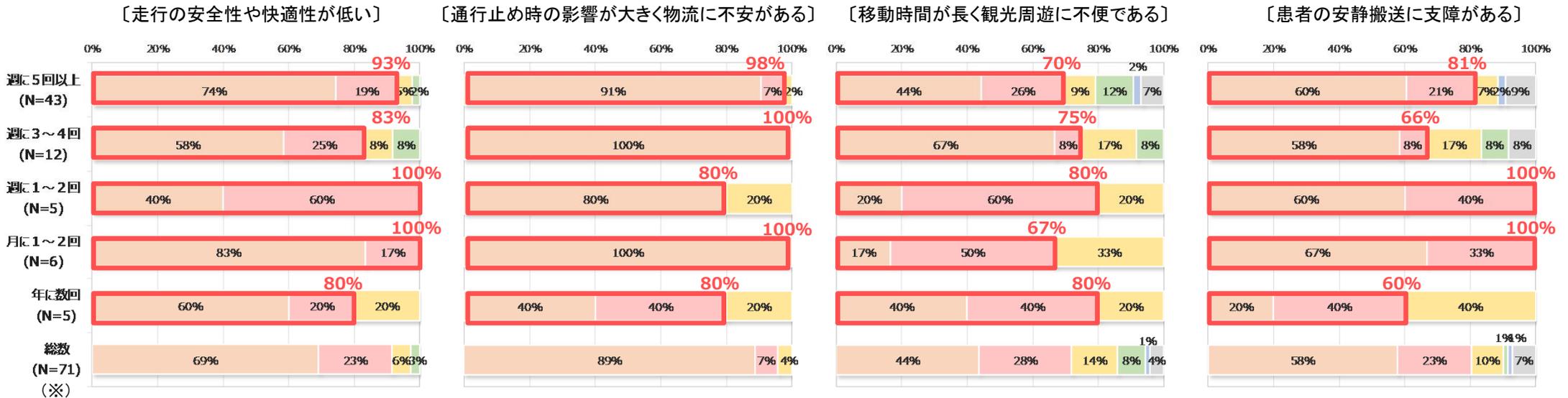
- ◆ 提示した各課題全てに、7割以上から課題と感じている回答が得られた。
- ◆ 特に、「通行止め時の影響が大きく物流に不安がある」、「走行の安全性や快適性が低い」を課題と感じている割合が高い。

問2 国道47号の戸沢～立川間(対象区間)の課題について、「そう思う」～「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】地域の課題



【図2】利用頻度別集計



※利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

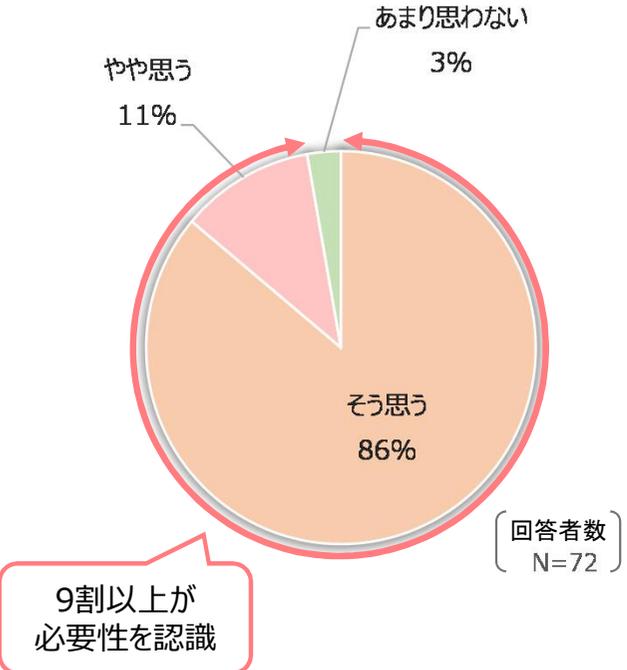
2-5. 事業者への意見聴取の結果(新たな道路整備)

- ◆ 地域の課題を解決するための新たな道路整備について、9割以上が必要であると感じている。
- ◆ また、道路の利用頻度が高いほど、必要性を感じている傾向。

問3 地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要だと思いますか? 「そう思う」~「全く思わない」の5段階で評価してください。

【図1】新たな道路整備の必要性

【図2】利用頻度別集計



※利用目的で「利用しない」を選択した人以外の回答

2-5. 事業者への意見聴取の結果(地域課題、意見・要望)

- ◆ 課題に対する自由意見及び意見・要望について、「地域課題」に関する意見が約半数を占め、このうちのほぼ全てが通行止め時の広域迂回や冬期の走行環境、道路構造に関する意見であった。
- ◆ その他の意見及び意見・要望では、早期完成への要望や、維持管理に関する意見が見られた。

問2 ○をつけた主な理由や、地域で困っていること改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。
 問4 その他、国道47号(新庄～酒田間)に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

【表1】課題に対する自由意見(回答事業所数のべ54事業所)

分類		主な意見
地域課題 【30件】	交通環境 【28件】	<ul style="list-style-type: none"> 全面通行止め時の迂回ルートが長すぎる。 冬場は路面凍結による危険で困っている。 冬期間、月山積雪及び事故等を避ける為使用している。整備をお願いしたい。 片側1車線なので、後続車からあおられる。 道路が狭くカーブも多いので、特に大型車は注意が必要。 時間短縮となるよう、高規格道路を建設していただきたい。
	物流・産業 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> 迂回路が国道112号しかないため、通行止めが国道112号と同時に発生すると、影響が大きい。 迂回路がないので、災害等による通行止め時にとても困る。
その他 【33件】	整備への要望 【16件】	<ul style="list-style-type: none"> 地域高規格道路の早期完成を願う。 新庄酒田道路の早期実現を望んでいる。
	維持管理 【8件】	<ul style="list-style-type: none"> 舗装状況が悪い。 夕方から明け方まで凍結が酷く危険である。
	整備方針 【6件】	<ul style="list-style-type: none"> ゆずり車線あれば良いと思う。 二車線区間を新設していただきたい。 トンネル区間ができれば走行環境が良くなると思う。 道路の幅員拡大及びカーブを減らし、直線化を望む。
	その他 【3件】	<ul style="list-style-type: none"> 非常駐車帯やトイレが不足している。 国道112号より好んで使用している。より良い環境になるよう頑張ってください。

約半数が地域課題に関する意見

※回答事業所の業種は、運輸業・製造業。
 ※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答事業所数と回答数合計は一致しない。

2-6. 関係団体ヒアリングの結果

- ◆ 交通環境については、カーブや勾配、幅員の狭さや凍結による事故への不安等、道路構造や冬期の問題への指摘が多い。
- ◆ 物流・産業については、通行止めによる損失や急カーブや揺れ等による品質への影響等への懸念が挙げられている。
- ◆ 観光については、冬期の悪路や通行止め等による、庄内地域と内陸との観光周遊への利用しにくさが挙げられている。
- ◆ 医療については、救急搬送時に、カーブが多い冬道が救急隊にかなりの負担となっていることが挙げられている。

【表1】関係機関による主な意見

分類	主な意見
交通環境 【21団体】	<ul style="list-style-type: none"> • <u>通行止め時は、輸送の休止や、国道112号による広域迂回が生じる</u>場合がある。(物流業者) • 冬期は<u>路面凍結やホワイトアウト、カーブや暴風雪でのスリップの危険</u>があり、かなり速度を落とさないと安心して走行することができない。<u>大型車が走行するには狭小</u>で、トレーラーが<u>カーブ</u>を曲がるのには不安がある。<u>勾配がきつい</u>と感じる箇所もある。(製造業者) • 雪が降るとさらに幅員が狭くなり、<u>大型車同士はすれ違うのも大変</u>である。凍結時は30～40km/hで走らないと、すぐにスリップしてしまう。(物流業者) • 冬期は慎重に運転するようになるため、事故の件数自体は多くないが、一度事故が発生した場合は重症や死亡事故になりやすい。(警察機関) • 冬期は、路面凍結しやすく、カーブが連続しており、スリップしやすいため、スノーシェッド内と入口での事故が多い。(警察機関)
物流・産業 【13団体】	<ul style="list-style-type: none"> • 通行止めになった場合、加工品のスライスなど日持ちがしない商品は廃棄するしかない。(製造業者) • 国道47号は原料の入荷、半製品の移送、製品の出荷、全ての命綱で、365日稼働しているため<u>通行止めなどの影響は非常に大きい</u>。商品が1日遅れれば引き取りが拒否されるため、廃棄せざるを得なくなる。カーブが続くと荷崩れが発生し、運送会社から返品となり、双方に不利益が生じる。(製造業者) • 生体運送時に掛かる振動が、豚へのストレスや負傷などに繋がるケースも起こりうるため、揺れたり急ブレーキを必要とするような道路は好ましくない。豚の等級は生体の段階で分けられるため、骨折などで痛んでしまうとランク外になり、価格が下がる。(製造業者) • 冬期は事故が多く、<u>通行止めになってしまうと国道112号から迂回</u>しなければならぬが、<u>国道112号は整備</u>されていて運転しやすいが、<u>勾配がきつい所があり</u>、渋滞などで止まったとき大型のトレーラーだと上れなくなってしまう可能性がある。<u>迂回により燃料代やドライバーの拘束時間増、指定時間のオーバー</u>など、多方面に影響が出る。劇物、毒物を扱う車両は長いトンネルの利用ができないため、考慮していただきたい。(物流業者)
生活安全 【6団体】	<ul style="list-style-type: none"> • 清川地区は、最上地方から庄内地方への玄関口となっており、最上川近くの狭くカーブの多い国道47号を運転してきたドライバーが、山間を抜け、一瞬気が緩み事故が起きやすい状況となっている。(自治体) • カーブで気を使ったり、運転時間が長いことなどは改善してほしい。(医療機関) • スクールバス15路線のうち、新庄路線が最も遅延が発生しやすい。(学校) • 国道47号が通行止めとなったときは、新庄方面のスクールバスは運休し、生徒も休みとなる。(学校)
観光 【3団体】	<ul style="list-style-type: none"> • 首都圏や内陸からの訪問者は、国道112号の利用が多く、国道47号利用が少ないと庄内町へ寄っていただく機会を損なっていることにもなる。(自治体) • 最上地域も庄内地域もインバウンドには苦戦している。最上に来る<u>インバウンド観光客</u>の8割が台湾からの来訪で、雪を見るために冬に来訪する。特に<u>冬期に悪路や通行止めになりやすい国道47号は利用しづらい</u>状況。(観光協会) • 立谷沢川沿いは庄内町最大の観光拠点であるため、アクセス性が向上すれば地域活性化の切り札となる。(観光協会)
医療 【3団体】	<ul style="list-style-type: none"> • 高屋～立川間は、<u>揺れやカーブ、滑り</u>等を抑えるため、とても気を遣う。その影響で<u>速度が遅くなりやすく、病院への引き渡しにも時間がかかる</u>。(消防機関) • 最上地域には心臓血管外科の専門医がいいため、「大動脈剥離」等の場合、日本海総合病院へ転院搬送している。大動脈剥離は、時間が経てば経つほど死亡率が上がる症状である。(医療機関)

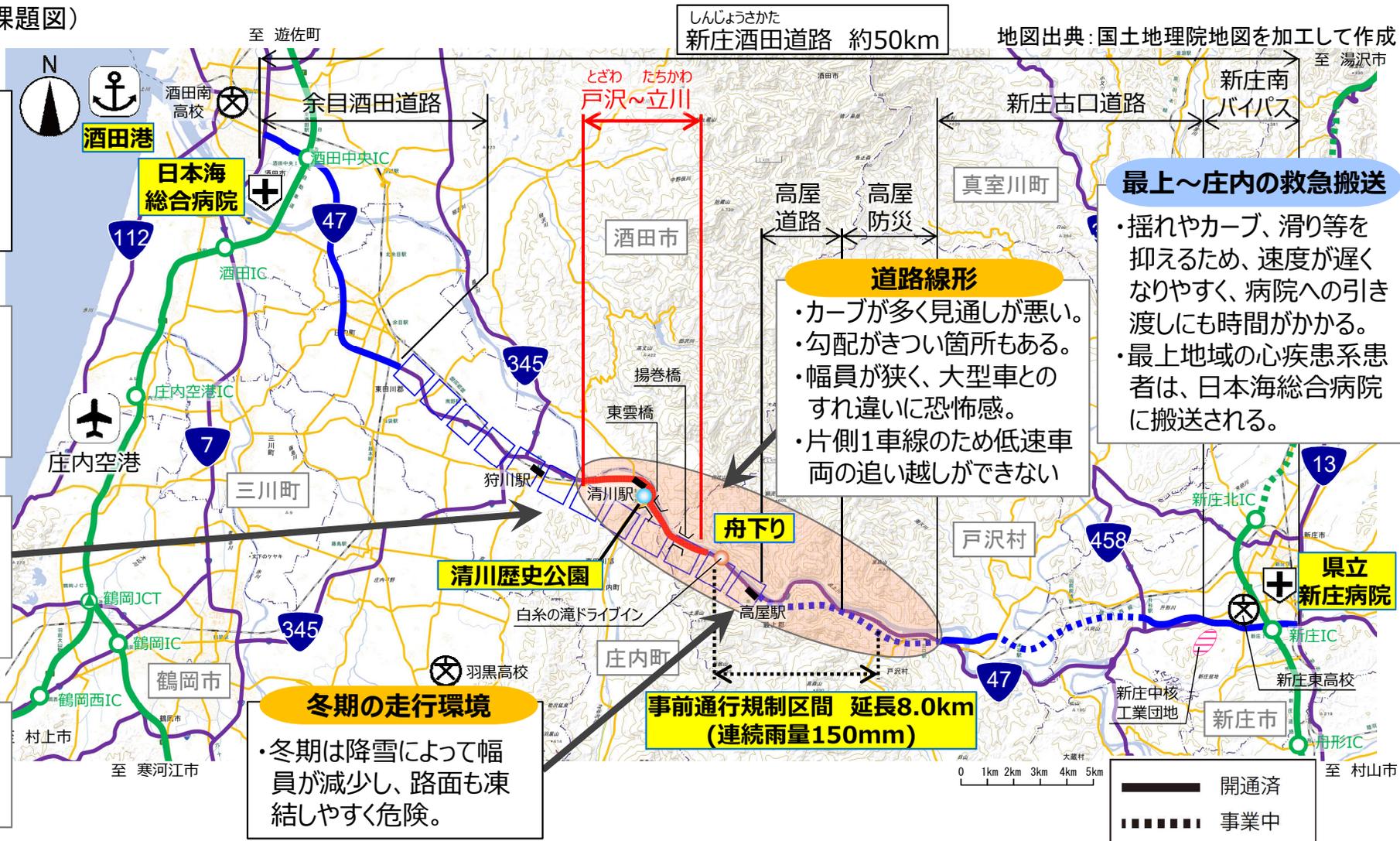
2-7. 地域の意見聴取(第1回)の結果のとりまとめ

【表1】意見聴取結果(一覧表)

項目	アンケート	ヒアリング	課題
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ○カーブが多く、狭いので見通しが悪い ○道路が狭く大型車とのすれ違いに恐怖感 ○降雪時は幅員が減少し、凍結しやすく危険 ○片側1車線のため低速車両の追い越しができない ○通行止め時は国道112号による広域迂回が必要 	<p>【事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大型車が走行するには狭小で、カーブや勾配がきつい箇所がある ○全面通行止め時は、輸送の休止や、国道112号による広域迂回が生じる場合がある 	走行安全性・快適性が低下
物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の物流を支える重要な路線 ○通行止め時は迂回距離が長い ○迂回路が国道112号しかないため、通行止めが国道112号と同時に発生すると、影響が大きい 	<p>【事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通行止めが発生すると、商品の廃棄や価格低下、迂回による輸送コスト増加等の影響が生じる ○広域迂回で使用する国道112号は、大型車にとってきつい急勾配がある 	不安定な物流ネットワーク
観光	<ul style="list-style-type: none"> ○通行止めになると庄内～内陸間の移動にかなりの時間を要する ○酒田港（大型客船）や最上川等の観光資源を活かす上で、道路の環境整備が重要 	<p>【観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○冬期に悪路や通行止めになりやすく、冬に来訪するインバウンド観光客には利用しづらい 	周遊観光の連絡性が不十分
医療	<ul style="list-style-type: none"> ○カーブや凹凸が多く、安定搬送のために速度を落とす必要があり、病院到着まで時間がかかる ○迂回路がないため、通行止め時の救急搬送には課題がある 	<p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○揺れやカーブ、滑り等を抑えるため、速度が遅くなりやすく、病院への引き渡しにも時間がかかる ○最上地域の心疾患系患者は、日本海総合病院に搬送される 	患者の安静かつ迅速な搬送に支障
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の物資等の輸送において重要 ○高屋道路との間の区間も含め、新庄まで全区間一気に事業化すべき 	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国道47号が通行止めになるとスクールバスが運休し、生徒も休みになる 	隣接区間も含めた早期整備

2-7. 地域の意見聴取(第1回)の結果のとりまとめ

【図1】意見聴取結果(課題図)



観光拠点の利活用

- 酒田港（大型客船）や最上川等の観光資源を活かす上で、道路の環境整備が重要。

速達性の向上

- 地域の物流を支える重要な路線。
- 通行止め時は迂回距離が長い。

救急搬送の迅速性

- カーブや凹凸が多いため、速度を落として通行する必要があり、安静かつ迅速な搬送に支障。

冬期観光

- 冬期は悪路や通行止めになりやすく、冬期の周遊観光者が利用しづらい。

通行止めの影響

- 通行止め時は国道112号による広域迂回が必要。
- 広域迂回で使用する国道112号は、大型車にとってきつい急勾配がある

企業活動への支障

- 輸送コストの増加、商品の廃棄、価格低下等の影響、場合によっては輸送休止が生じる。
- 国道112号と同時に通行止めになると影響が大きい。

周遊観光への支障

- 通行止めになると、庄内～内陸間の移動にかなりの時間を要し、周遊観光に影響が出る。

救急搬送への支障

- 付近に迂回路がないため、通行止め時の救急搬送には課題。

最上～庄内の救急搬送

- 揺れやカーブ、滑り等を抑えるため、速度が遅くなりやすく、病院への引き渡しにも時間がかかる。
- 最上地域の心疾患系患者は、日本海総合病院に搬送される。

道路線形

- カーブが多く見通しが悪い。
- 勾配がきつい箇所もある。
- 幅員が狭く、大型車とのすれ違いに恐怖感。
- 片側1車線のため低速車両の追い越しができない

冬期の走行環境

- 冬期は降雪によって幅員が減少し、路面も凍結しやすく危険。

事前通行規制区間 延長8.0km (連続雨量150mm)

しんじょうさかた 新庄酒田道路 約50km

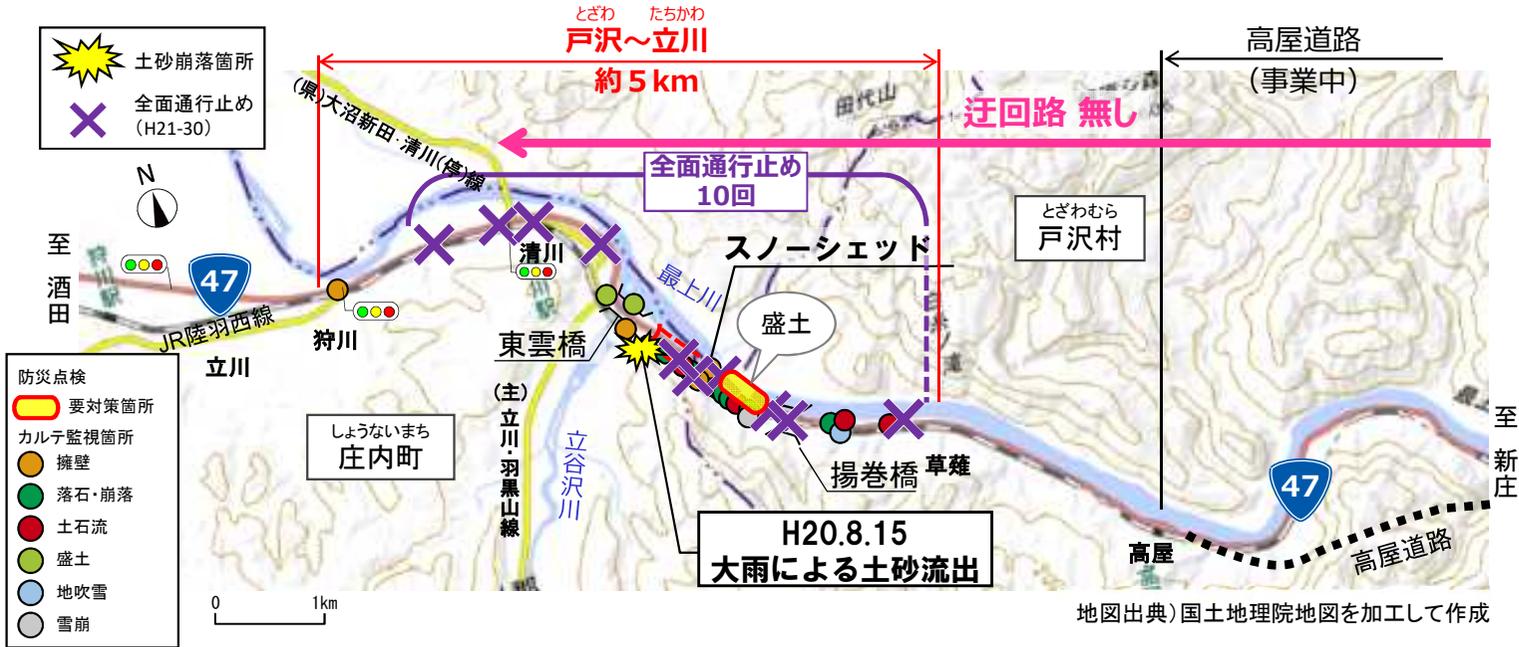
地図出典：国土地理院地図を加工して作成

3. 課題の再整理

3-2. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（通行止めリスク）

- ◆ 対象区間では、通行規制時の全面通行止め割合が約6割と高く、過去10年で18回中10回が全面通行止め。
- ◆ 過去には土砂流出による通行止めも発生。
- ◆ 全面通行止め時には距離にして約3倍、時間にして約2倍もの迂回が必要。

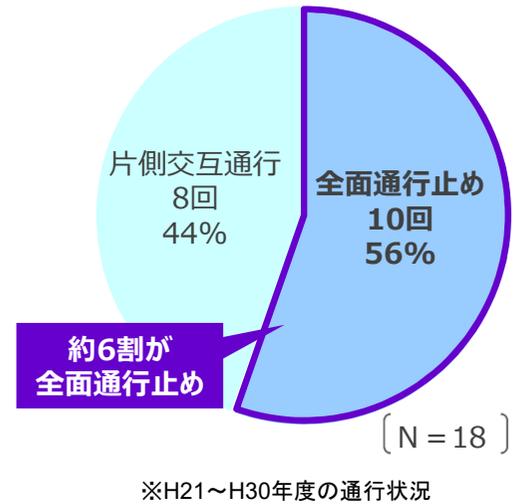
【図1】対象区間の全面通行止め発生状況・防災点検箇所



【写真1】土砂流出状況 (H20.8.15)

【写真2】大雨によるスノーシェッド上方法面からの出水状況(H30.8.31)

【図2】対象区間の通行規制の状況



※H21~H30年度の通行状況

【図3】通行止め時の広域迂回状況



出典)平成27年度道路交通センサス
※昼間12時間平均速度より所要時間(上下平均)を算出

《 地域住民の声 》

- R2アンケート調査結果より
- ・ 国道47号の**通行止め**は地域にとって**重大な交通障害**。
 - ・ 通行止め時は、**迂回路**となる**国道112号**が**遠くて大変**。
 - ・ **通行止めが国道112号と同時に発生すると、影響が大きい**。

土砂流出の被災状況

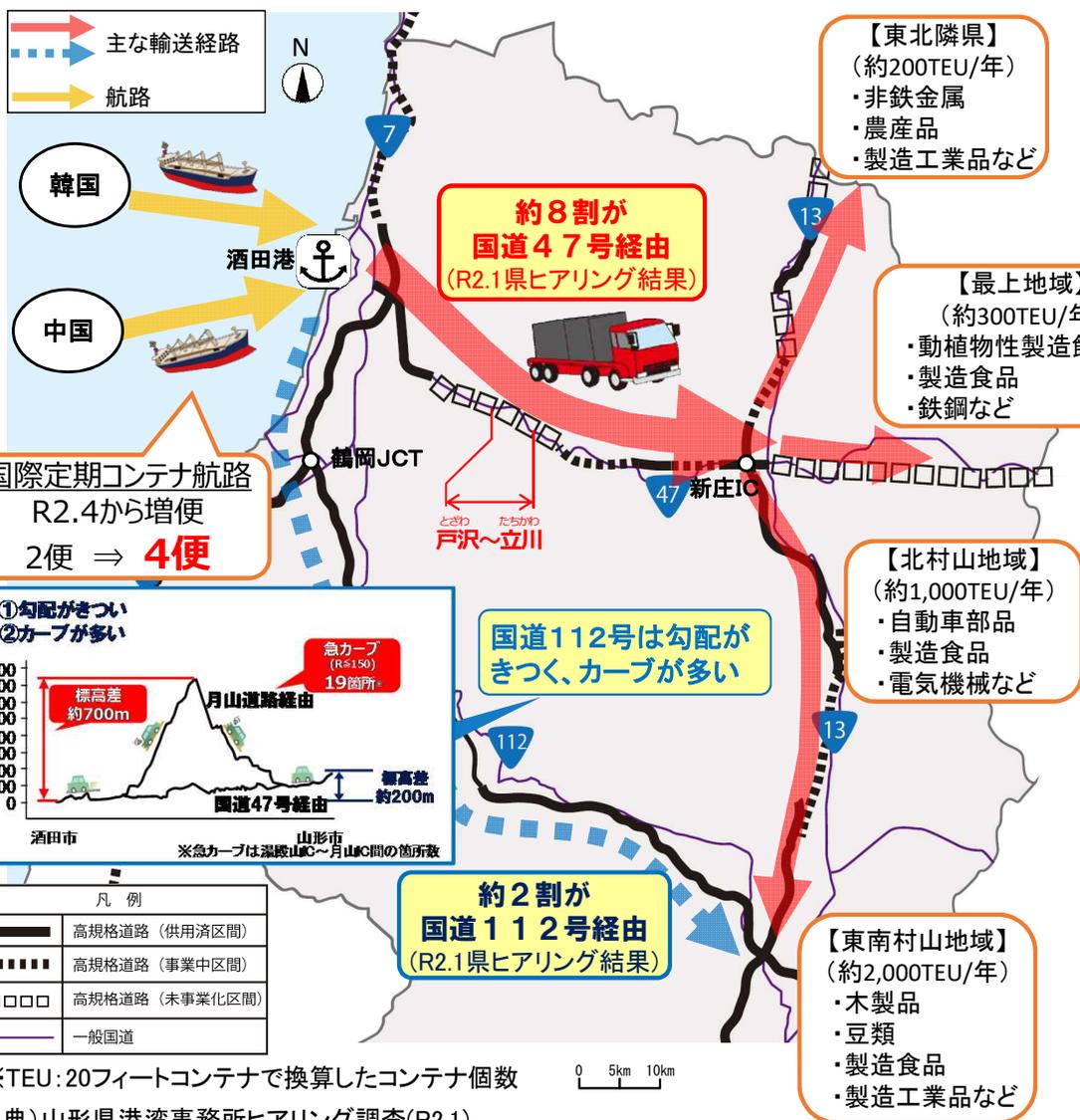
通行止めが長期化

全面通行止め 9時間
片側交互通行 12日間

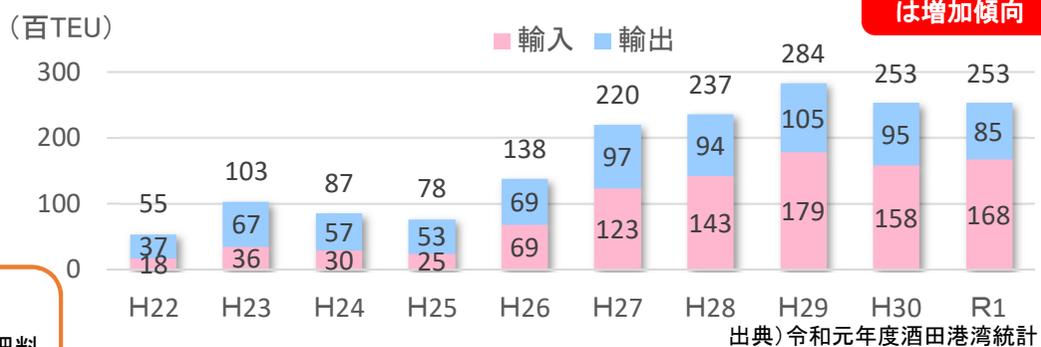
3-3. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（物流・産業）

- ◆ 酒田港のコンテナ貨物取扱量は近年増加傾向で、内陸部を発着地とする貨物のうち約8割が国道47号利用の輸送。
- ◆ 一方、物流事業者からは、冬期の走行性低下、幅員狭小による事故の危険性、通行止めの発生リスクが課題として指摘。
- ◆ 港湾機能の強化に伴い、酒田港へのコンテナ輸送ルートของさらなる機能向上が必要。

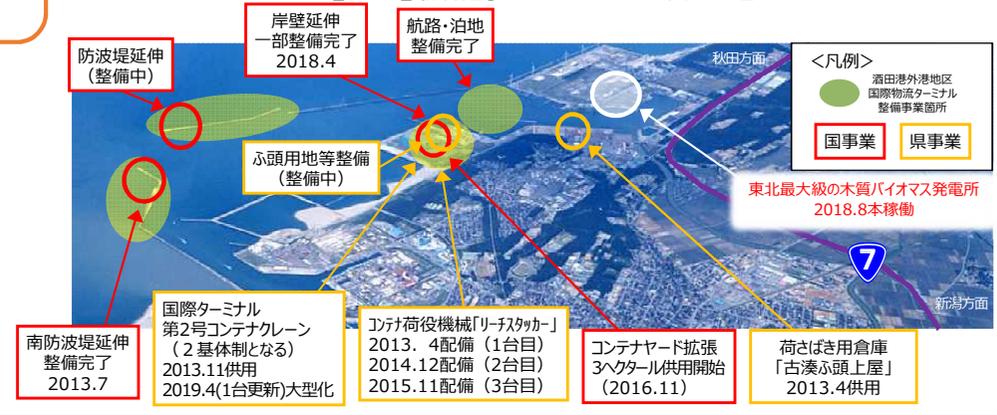
【図1】内陸方面への酒田港輸入コンテナ貨物の流動状況



【図2】コンテナ貨物の輸出入量推移



【図3】機能強化が進む酒田港



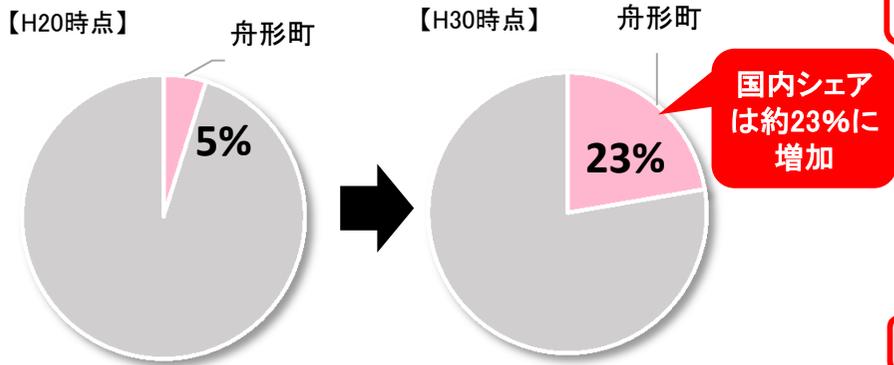
《 物流事業者の声 》 R2.1ヒアリング調査結果より

- ・ 冬期は路面凍結やホワイトアウト、カーブや暴風雪でのスリップの危険があり、かなり速度を落とさないと安心して走行することができない。
- ・ 幅員も狭小で、カーブや勾配もあるため、大型車にとって走行しづらく、事故の危険性もある区間となっている。
- ・ 通行止め発生時は、広域迂回による燃料等のコスト増加、到着遅延、ドライバーの拘束時間増などの影響が出る。
- ・ 希に自転車や歩行者がいることがあり、接触しそうで不安がある。

3-3. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（物流・産業）

- ◆ ^{ふな がたまち} 舟形町のマッシュルーム国内シェアは、10年間で約5%から約23%まで増加、主な生産業者の年間生産量は10年間で約6倍に増加。
- ◆ 生産に不可欠な覆土材は国道47号を利用して輸送しており、酒田港や新庄酒田道路の整備が地域製品の生産を支援。
- ◆ 一方、国道47号の通行規制によって覆土材等の資機材の到着遅れが頻繁に発生しており、通行止めリスク改善が課題。

【図1】舟形町のマッシュルーム国内シェア



出典) 各年地域特産野菜生産状況より試算

【図2】舟形町の主なマッシュルーム生産業者における年間生産量と従業員数の推移



出典) H27・H28・R1ヒアリング調査結果

【図3】マッシュルーム生産業者の資機材や生産物の輸送実態



出典) マッシュルーム生産業者へのヒアリング調査結果(H27・H28・R1)

《マッシュルーム生産業者の声》 R1ヒアリング調査結果より

- 事故等により、**生産に不可欠な資機材（覆土材など）の到着遅れが頻繁に発生**する。
- **通行止めになった場合**、加工品のスライスなど**日持ちがしない商品は廃棄**するしかない。
- **複数のルートを整備**し、災害時などでも物資が滞りなく運べるようにしてほしい。

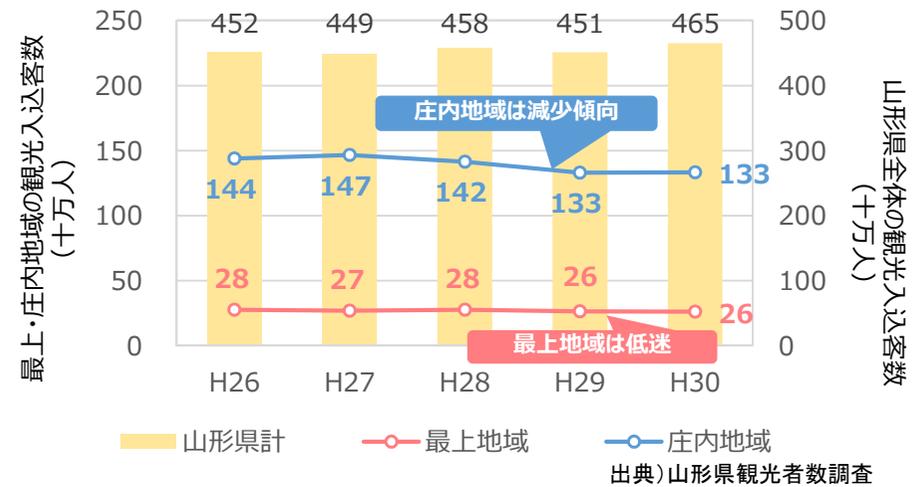
3-4. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（観光）

- ◆ 沿線地域は観光が重要な産業の一つであり、当該区間は広域周遊ルートを担当することが期待されている。
- ◆ 一方、冬期の走行性低下や通行止めといった問題があり、「最上川舟下り」をはじめ、最上・庄内地域への観光客数は低迷している状況。
- ◆ 最上・庄内両地域の観光振興において、国道47号の冬期走行性や通行止めの改善によるアクセス性向上が重要。

【図1】主要な観光拠点及び広域観光ルートのイメージ



【図2】庄内地域・最上地域への観光入込客数推移



【図3】最上川舟下りへの観光入込客数



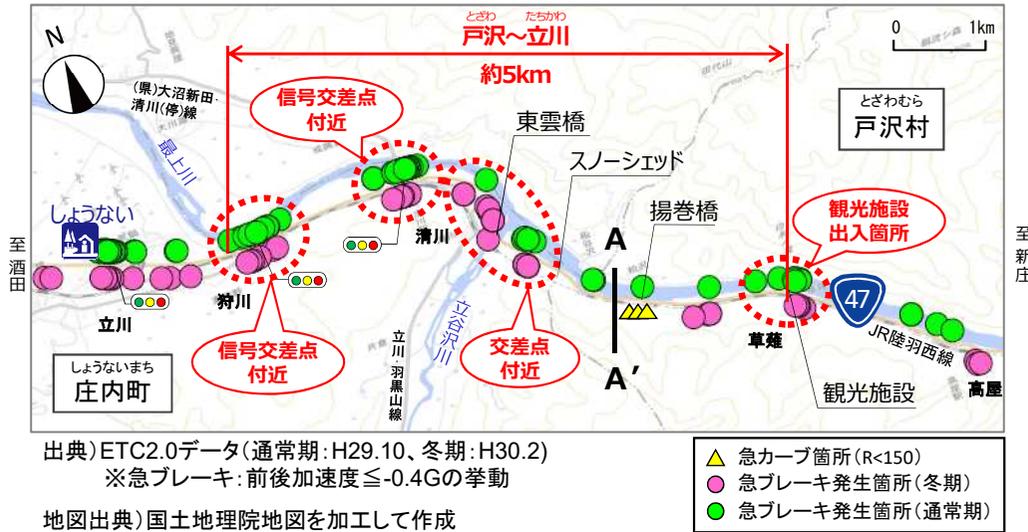
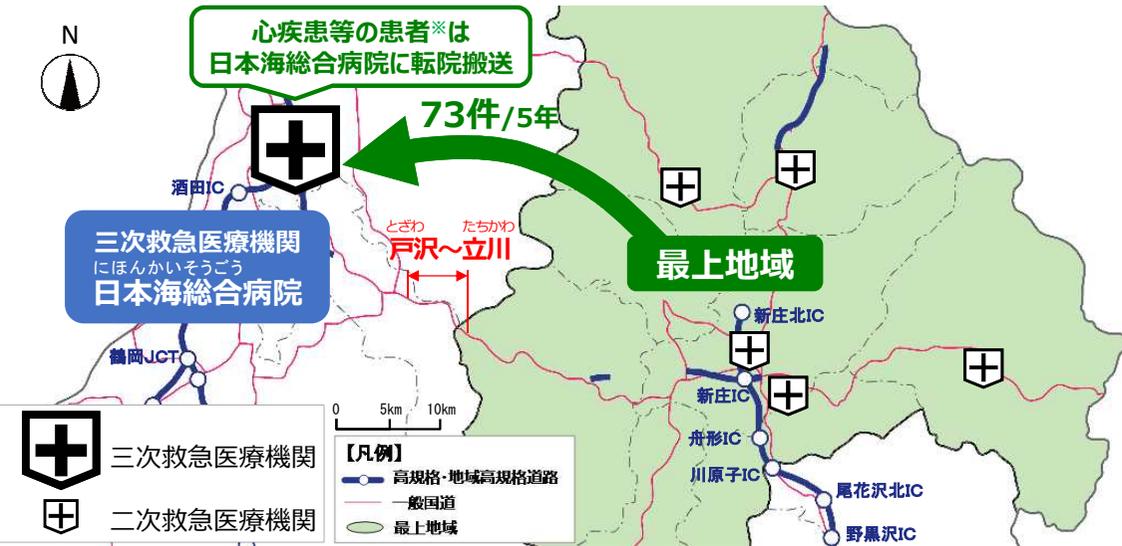
《観光関係者の声》
R2.1ヒアリング調査結果より

- ◆ 沿線地域は、**観光が重要な産業の一つ**。
- ◆ **最上川舟下りを核とし、地域を周遊する観光客**を対象に、**通過ではなく滞在してもらえ**る地域を目指している。
- ◆ 特に**冬期に悪路や通行止めになりやすい国道47号は利用しづらい**状況。

- ◆ **最上地域**には、大動脈剥離等に対応可能な専門医がおらず、日本海総合病院へ5年間で73件の転院搬送が発生。
- ◆ 国道47号は、庄内地域への唯一のアクセス道路であるが、急カーブ等の線形不良区間や、急ブレーキ挙動が発生しやすい交差点・沿道出入り箇所が存在。
- ◆ 救急隊員からは、救急搬送時のカーブ等による速度低下、ブレーキによる患者への影響、追い越し困難等の課題が指摘。

【図1】最上地域から日本海総合病院への転院搬送状況(H27~R1)

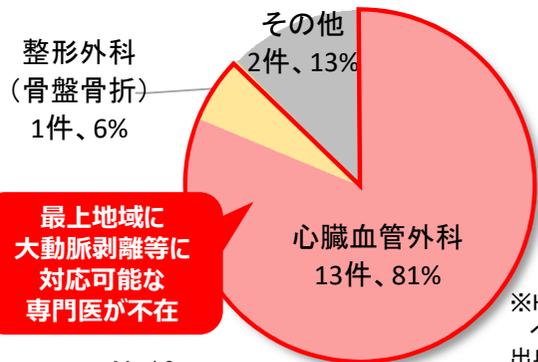
【図3】急ブレーキ発生状況



出典)最上広域市町村圏事務組合消防本部提供データよりH27~R1の5年間の合計件数

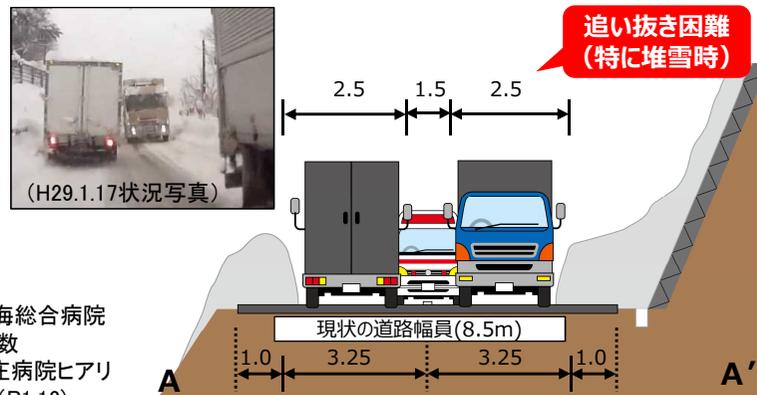
※主に大動脈剥離の患者が搬送される

【図2】日本海総合病院への搬送内訳(H30)



※H30の日本海総合病院への搬送件数
 出典)県立新庄病院ヒアリング調査結果(R1.12)

【図4】当該区間の道路断面イメージ



《救急隊員の声》R2.6ヒアリング調査結果

- 高屋～立川間は、**揺れやカーブ、滑り**等にとても気を使う。その影響で**速度が遅くなりやすく、病院への引き渡しにも時間がかかる。**
- 頭を進行方向に向けて搬送する関係で、**ブレーキをかけると血液が頭に上ってしまうため、頻りにブレーキをかけることは望ましくない。**
- **通行止めになると、庄内方面への搬送ができなくなる。**
- 高屋～立川間は**大型車交通量が多い印象があるが、幅員が狭いので追い越しが難しい。**

【表1】道路交通・地域の課題とその原因（第1回委員会提示案に意見聴取内容を反映）

	課 題	原 因
交通 環境	<p>○走行安全性・快適性が低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭幅員、急カーブが連続しており、交差点は少ないが、区間全体に急ブレーキが発生。 ・地吹雪や路面凍結、堆雪により、走行環境が悪化。 ・冬期に通常期の約4倍の死傷事故が発生しており、正面衝突やすれ違い時などの死傷事故が多発。 ・カーブが多く、狭いので見通しが悪い。 ・道路が狭く大型車とのすれ違いが危険。 ・片側1車線のため低速車両の追い越しができない。 ・通行止め時は国道112号による広域迂回が必要。 ・大型車が走行するには狭小でカーブが多く、勾配がきつい箇所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○狭幅員、急カーブが連続 ○冬期の劣悪な道路交通環境
物流 ・ 産業	<p>○不安定な物流ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通行止め時は広域迂回（所要時間約2倍）が発生し、原材料の輸送や商品の製造、供給へ影響。 ・急ブレーキ等による走行時の振動により原材料や商品の輸送に影響。 ・地域の物流を支える重要な路線だが、通行止め時は迂回距離が長い。 ・迂回路が国道112号しかないため、通行止めが国道112号と同時に発生すると、影響が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○通行止め時の迂回が広域となる ○狭幅員、急カーブが連続
観光	<p>○周遊観光の連絡性が不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最上・庄内地域への観光客数は近年減少傾向。 ・最上・庄内両地域の相互交流も少ない。 ・通行止めになると庄内～内陸間の移動にかなりの時間を要する。 ・冬期に悪路や通行止めになりやすく、主に冬に来訪するインバウンド観光客には利用しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域間の速達性と定時性が低い
医療	<p>○患者の安静かつ迅速な搬送に支障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転院搬送時の患者への負担軽減に課題。 ・冬期走行性の確保に課題。 ・揺れやカーブ、滑り等を抑えるため、速度が遅くなりやすく、病院への引き渡しにも時間がかかる。 ・迂回路がないため、通行止め時の救急搬送には課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○狭幅員、急カーブが連続 ○冬期の劣悪な道路交通環境

政策目標
(素案)

安全かつ
快適な移動の
実現

物流の安定的輸送
の確保

観光振興の支援

安定した
搬送ルート
の確保

4. 政策目標の設定

4-1. 政策目標の設定

◆ 地域への意見聴取(第1回)の結果から、「安全かつ快適な移動の実現」「物流の安定的輸送の確保」「観光振興の支援」「安定した搬送ルート確保」の4項目を政策目標とする。

	交通環境	物流・産業	観光	医療
地域・道路の状況と課題	○走行安全性・快適性が低下	○不安定な物流ネットワーク	○周遊観光の連絡性が不十分	○患者の安静かつ迅速な搬送に支障
地域の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 格子状骨格道路ネットワークの形成【第3次山形県総合発展計画】 ◆ 高速道路網の整備促進【第2次庄内町総合計画】 ◆ 高速道路の整備促進・国道47号の改良整備【第4次戸沢村総合計画】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 酒田港の活用推進【第3次山形県総合発展計画】 ◆ 工業の振興による活力づくり【第2次庄内町総合計画】 ◆ 広域的な取り組みによる企業誘致の促進【第4次戸沢村総合計画】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 隣県等との連携推進【第3次山形県総合発展計画】 ◆ 広域観光体制の充実【第2次庄内町総合計画】 ◆ 広域観光・交流事業の連携【第4次戸沢村総合計画】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 救急医療体制の強化【第3次山形県総合発展計画】
住民や事業者への意見聴取結果	<ul style="list-style-type: none"> ・住民、事業者ともに約9割が課題と認識 ・「冬期間の危険性・時間の不確実性」、「狭幅員・急カーブによる危険性」の意見等が多数寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の約9割、事業者はほぼ全数が課題と認識 ・「通行止め発生時の影響の大きさ」、「整備による経済活性化への期待」等についての意見等が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の約8割、事業者の約7割が課題と認識 ・「広域周遊観光への使いにくさ」、「最上川舟下り・酒田港等活用への期待」についての意見等が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の約9割、事業者の約8割が課題と認識 ・「カーブ等による安静搬送への影響の懸念」、「低速走行による搬送時間の長さへの不安」についての意見等が寄せられた。

政策目標

安全かつ
快適な移動の実現

物流の安定的輸送
の確保

観光振興の支援

安定した
搬送ルートの確保

5. 対応方針(ルート帯案)の検討

5-1. 対応方針(ルート帯案)の考え方

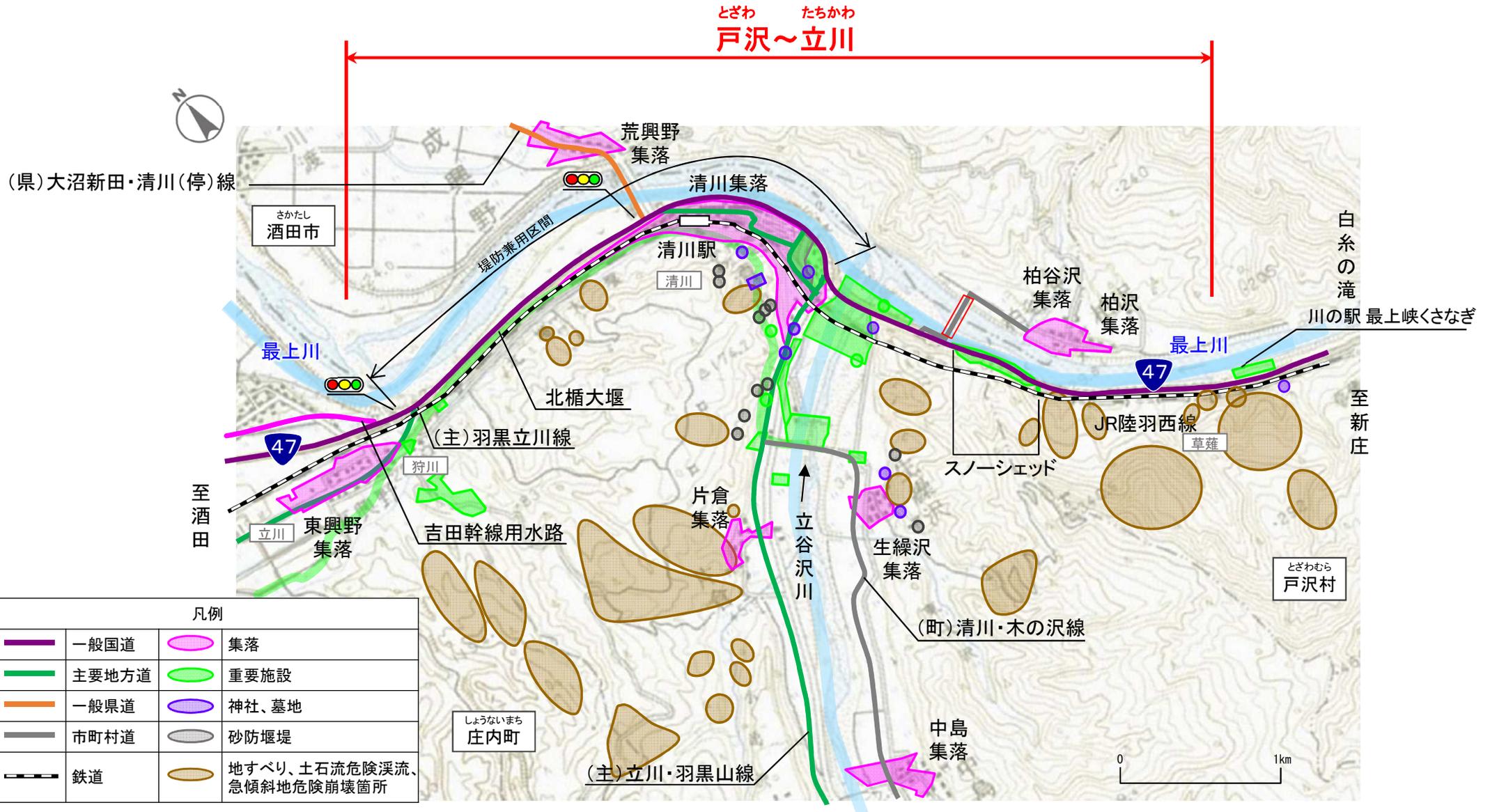
◆ 地域の意見聴取(第1回)の結果から、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を以下に整理した。

<p>政策目標</p>	<p>安全かつ 快適な移動の 実現</p>	<p>物流の安定的輸送 の確保</p>	<p>観光振興の支援</p>	<p>安定した 搬送ルートの確保</p>
<p>課題に対する 地域の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期間の危険性・時間の不確実性の解消 ・ 狭幅員・急カーブによる危険性の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通行止め発生時の物流への影響の緩和 ・ 整備による経済活性化への期待 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域周遊観光への使いにくさの解消 ・ 最上川舟下り・酒田港等活用への期待 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カーブ等による安静搬送への影響の解消 ・ 低速走行による搬送時間の長さの緩和
<p>必要な機能</p>	<p>走行環境の悪化に伴う交通事故が減少し、移動の不安が改善される道路</p>	<p>主要幹線道路として安定した物流を支援する道路</p>	<p>庄内地域と内陸部の広域連携軸として、観光活性化を支援する道路</p>	<p>高次医療施設への迅速かつ安定した搬送を支える道路</p>
<p>その他 配慮すべき事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活環境 ・ 自然環境 ・ 工事の影響 ・ 経済性 			

5-2. 対策案のコントロールポイントの考え方(施設等)

◆ 対策案のコントロールポイントとしては、施設等(集落)、地すべり等の地形・地質、最上川・立谷沢川への影響、その他事項(貴重な動植物等)を設定。

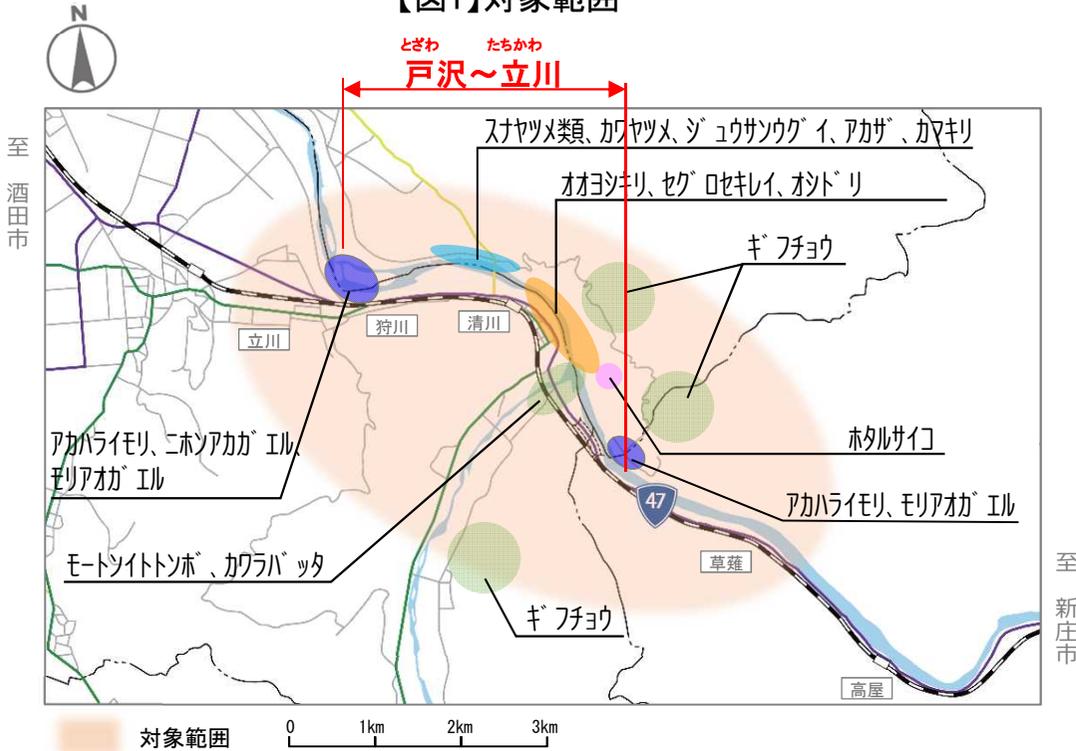
【図1】施設等のコントロールポイント



5-3. 地域に配慮すべき事項(自然環境)

◆ 既存文献から重要な動植物が分布しているため、影響をできる限り軽減する必要がある。

【図1】対象範囲



動物

■過去の文献で確認されている希少種

- 哺乳類
カモシカ(文化財:国指定特別天然記念物)
- 鳥類
オシドリ(環:DD,県:NT)、セグロセキレイ(県:VU)、オオヨシキリ(県:NT)
- 両生類
アカハライモリ(環:NT,県:NT)、ニホンアカガエル(県:EN)、モリアオガエル(県:NT)
- 魚類
カワヤツメ(環:VU,県:VU)、スナヤツメ類(環:VU,県:VU又はNT)、ジウサンウグイ(環:絶滅のおそれのある地域個体群、県:VU)、アカザ(環:VU)、カマキリ(環:VU,県:EN)、ウケクチュウグイ(環:EN,県:EN)
- 昆虫類
ギフチョウ(環:VU)、モートントンボ(環:NT,県:NT)、カワラバッタ(県:VU)、エゾエンマコオロギ(県:NT)

凡例) 環境省:「環境省レッドリスト2020」(環境省, 令和2年3月)
山形県:「レッドデータブックやまがた2019 山形県の絶滅のおそれのある野生動物」(山形県, 平成31年3月)

重要な種の選定基準

- 環:環境省レッドリスト2020(環境省 令和2年3月)
CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類
VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧種、DD:情報不足
- 県:レッドデータブックやまがた 絶滅危惧野生植物2013年改訂版
(山形県 平成26年3月)
レッドデータブックやまがた 山形県の絶滅のおそれのある野生動物
(山形県 平成31年3月)
- ※カテゴリーは環境省レッドリストに準拠
- 文化財:文化財保護法(文化庁 昭和25年5月 最終改正 平成26年6月)
- 種の保存法:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
(環境省 平成4年8月 最終改正 令和元年6月)

植物

■過去の文献で確認されている希少種

- ホタルサイコ(県:VU)、ヒメシャガ(環:NT,県:NT)、クマガイソウ(環:VU,県:NT)、コシノカンアオイ(環:NT,県:NT)、ハイハマボス(環:NT,県:NT)、カワラニガナ(環:NT,県:EN)

凡例) 環境省:「環境省レッドリスト2020」(環境省, 令和2年3月)
山形県:「レッドデータブックやまがた 絶滅危惧野生植物 2013年改訂版」(山形県, 平成26年3月)

5-4. ルート帯案の検討 [案①:バイパス案]

◆ バイパス整備により起終点間を短く結び、現道課題の解消を図る。

■整備概要

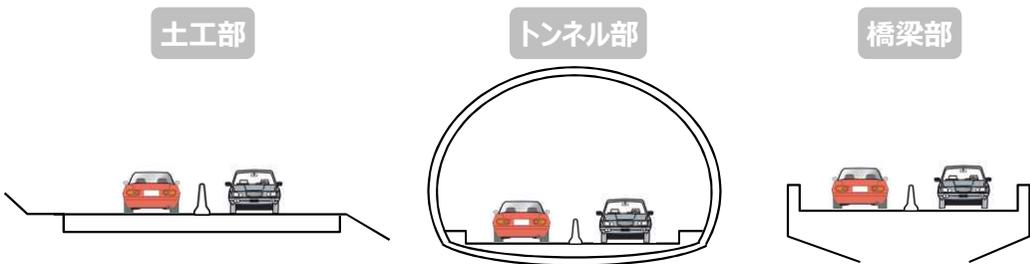
延長 約5km

設計速度 V=80km/h

構造 土工等

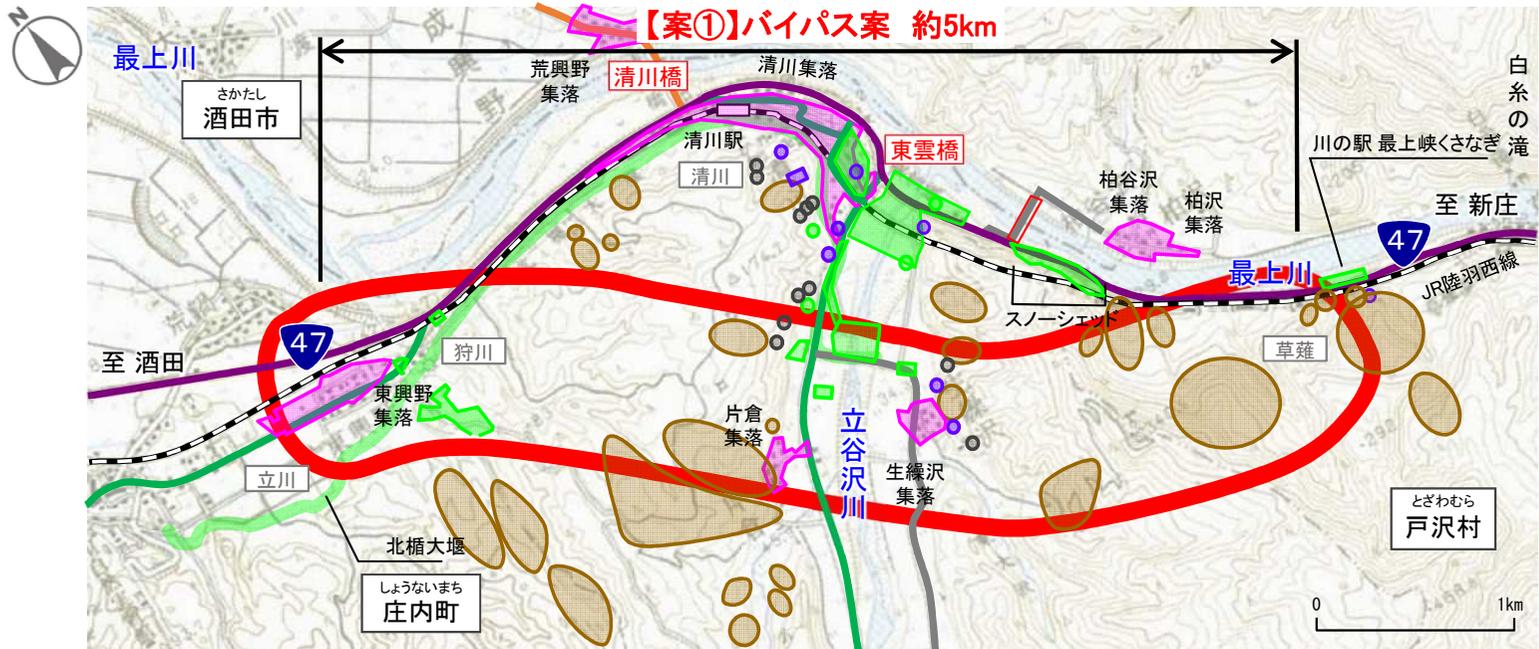
コスト 約200億円～240億円

■代表断面図(イメージ)



■ポイント

- 内容**
- **清川地区**の集落を避け、立谷沢川上流側を通過させるとともに**戸沢村草薙地区**で国道47号に接続し、**現道課題の解消を図る案。**
 - 現況道路より**平面曲線が大きく走行性に優れる。**
 - 周辺道路との交差を**アクセスコントロールすることにより、設計速度を確保。**
 - 事故の多い急カーブやスノーシェッド区間の回避により、**事故の危険性が大きく軽減。**
 - 災害・事故による**通行止め時の迂回路として、代替機能を確保。**
 - 現道の交通量が減少するため、**沿道環境が改善。** 施工時、現道部の工事は接続部のみであるため、**現道交通への影響は少ない。**



凡例	
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	市町村道
	案1 バイパス案

凡例	
	集落
	重要施設
	神社、墓地
	砂防堰堤
	地すべり、土石流危険渓流、急傾斜地危険崩壊箇所

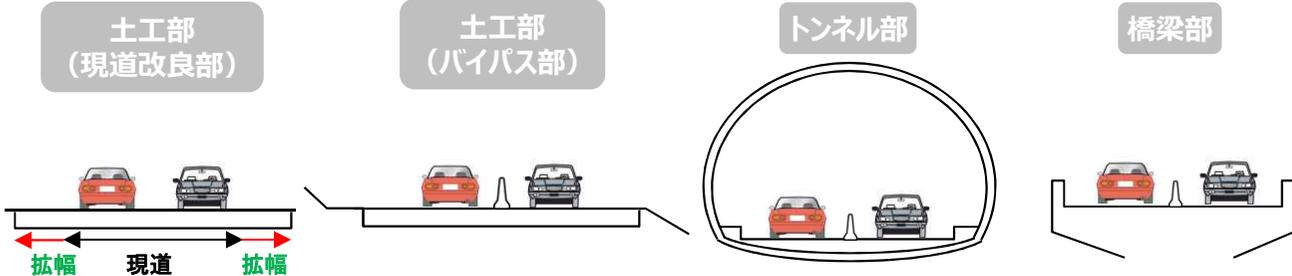
5-4. ルート帯案の検討 [案②:現道改良・一部バイパス案]

◆ 現道を局部改良し、現道課題の解消を図る。(一部バイパス整備)

■整備概要

延長	約7km	設計速度	V=60km/h
構造	土工等		
コスト	約220億円～260億円		

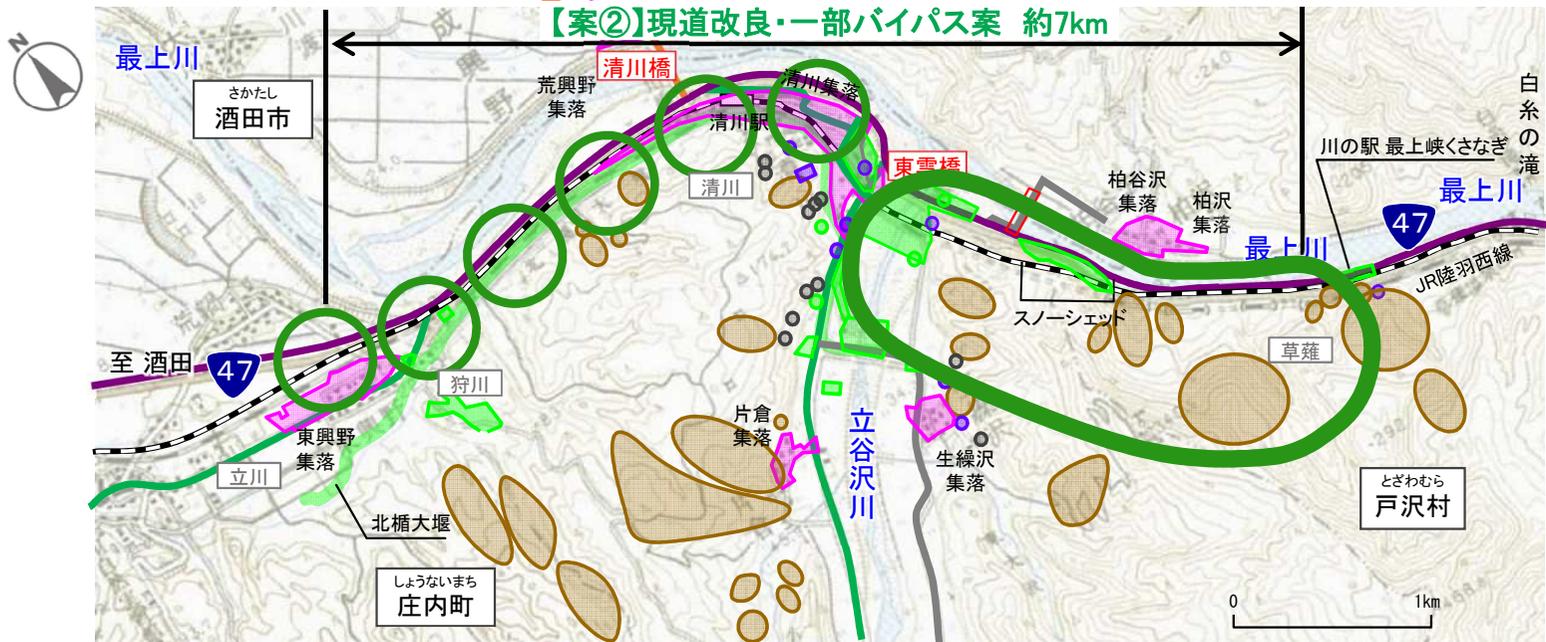
■代表断面図(イメージ)



■ポイント

内容

- 現道を局部改良し、**現道の課題の解消を図る**案。
- 狭小幅員等の解消により、道路線形上の**設計速度向上、冬期の移動快適性の向上を図る**。
- 急カーブ区間は、**線形を変更(ミニバイパス等)**とすることで、**安全性等の問題が解消**され、**事故の危険性が軽減**できる。
(急峻地形に加えて既存の法面保護・雪崩対策等の防災施設により、一部区間は現道改良が困難なためバイパス整備を採用)
- 現状より**広い幅員の確保**により、**全面通行止めリスクを緩和**。
- **最上川沿い観光資源へのアクセス強化**。
- **清川地区に住む住民のアクセス強化**。
- **施工時は長期間の交通規制が必要**。



凡例	
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	市町村道
	案2 現道改良区間
	案2 バイパス区間

凡例	
	集落
	重要施設
	神社、墓地
	砂防堰堤
	地すべり、土石流危険渓流、急傾斜地危険崩壊箇所

5-5. 評価項目の設定

- ◆ 政策目標を達成するために求められる機能について整理し、評価項目を設定した。
- ◆ 配慮すべき事項については、道路整備による影響等を考慮し、評価項目を設定した。

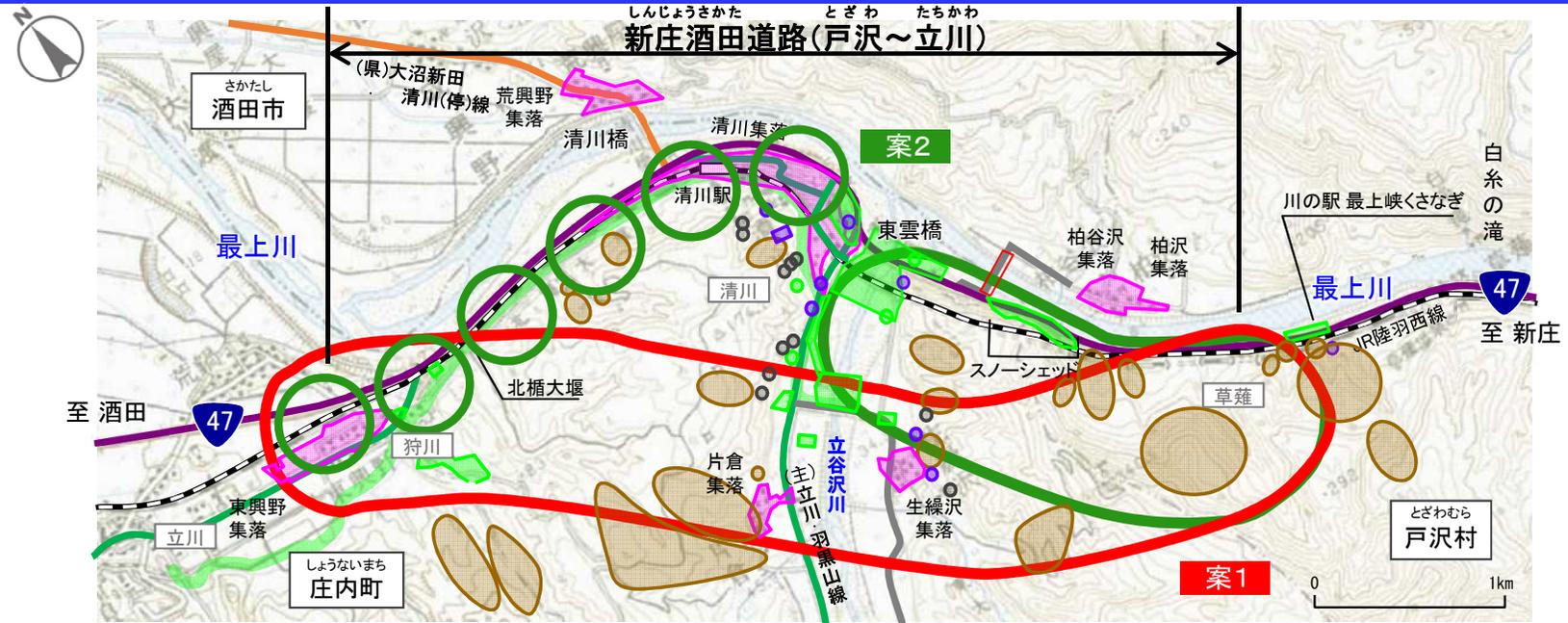
【表1】評価項目の設定

課題	政策目標	必要な機能	評価項目
交通環境	安全かつ快適な移動の実現	走行環境の悪化に伴う交通事故が減少し、移動の不安が改善される道路	<ul style="list-style-type: none"> ・事故多発箇所の回避 ・冬期の快適な移動
物流・産業	物流の安定的輸送の確保	主要幹線道路として安定した物流を支援する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・通行止め時の代替機能
観光	観光振興の支援	庄内地域と内陸部の広域連携軸として、観光活性化を支援する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・庄内～最上間の時間短縮 ・観光資源へのアクセス性
医療	安定した搬送ルート確保	高次医療施設への迅速かつ安定した搬送を支える道路	<ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送の信頼性

【表2】配慮すべき事項の設定

配慮すべき事項	評価項目
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・現道沿線住民への影響
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地形・自然環境の改変
工事の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・現道交通への影響
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・整備に関する費用

5-6. 対策案の比較



凡例	
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	市町村道
	案1 バイパス案
	案2 現道改良区間
	案2 バイパス区間

凡例	
	集落
	重要施設
	神社、墓地
	砂防堰堤
	地すべり、土石流危険渓流、急傾斜地危険崩壊箇所

比較項目		【案①】バイパス案	【案②】現道改良・一部バイパス案
ルートの概要		バイパス整備により起終点間を短く結び、現道課題の解消を図る案 (全線別線・立体交差)	現道を局部改良し、現道課題の解消を図る案 (現道改良。急峻地形・防災施設を避けて一部バイパス整備)
延長		約5 km	約7 km
設計速度		80km/h	60km/h
政策目標	安全かつ快適な移動の実現	事故多発箇所の回避	事故の多い急カーブ (R=100m: 2箇所, R=120m: 1箇所) やスノーシールド区間の回避により、事故の危険性が大きく軽減
		冬期の快適な移動	狭小幅員や路面凍結の多い最上川沿いの回避により、冬期の移動快適性が大きく向上 縦断勾配は3.0%以下であり、冬期の走行安全性(立ち往生回避)を確保
	物流の安定的輸送の確保	通行止め時の代替機能	災害・事故による通行止め時の迂回路として、代替機能を確保
	観光振興の支援	庄内～最上間の時間短縮	別線整備でサービス速度が高く、速達性に優れる
		観光資源へのアクセス性	現道沿線からのアクセス性は劣る
安定した搬送ルート確保	救急搬送の信頼性	サービス速度向上により、患者の安静な搬送に大きく寄与	
配慮すべき事項	生活環境	現道沿線住民への影響	現道の交通量が減少するため、沿道環境が改善されるが集落からのアクセス性は劣る
	自然環境	地形・自然環境の改変	全線新設のため、自然環境への影響や地形改変が大きい
	工事の影響	現道交通への影響	現道での工事は接続部のみであるため、現道交通への影響はほとんどない
	経済性	整備に関する費用*	約200～240億円

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

6. 第2回地域の意見聴取の方法

6-1. 地域の意見聴取(第2回)の内容

◆ 地域の意見聴取(第2回)の内容は、地域や道路交通の課題を解消するために示したルート帯案が、地域のニーズを十分に踏まえたものとなるよう、ルート帯案を検討する際に、重視すべき項目に関する質問を設定。

1. 地域の意見聴取(第2回)の内容

調査項目	把握する内容	回答方法	備考
1. 属性	性別、第1回アンケートの回答、職業	選択式(単一回答)	第1回と同様の意見聴取項目
	年齢、住所	選択式(単一回答)	
2. 国道47号の利用状況について	主な利用目的	選択式(単一回答)	第1回と同様の意見聴取項目
	主な移動手段	選択式(単一回答)	
	利用頻度	選択式(単一回答)	
3. ルート帯案を検討する際に重視すべき項目	どのようなことに重視して計画をすべきか	選択式(複数回答)	第2回意見聴取項目
	その他に重視すべき事項は	自由回答	
4. 重視すべき理由等	3. で回答した項目に対する具体的意見	自由回答	第2回意見聴取項目

6-1. 地域の意見聴取(第2回)の対象者と方法

2. 意見聴取の対象(案)

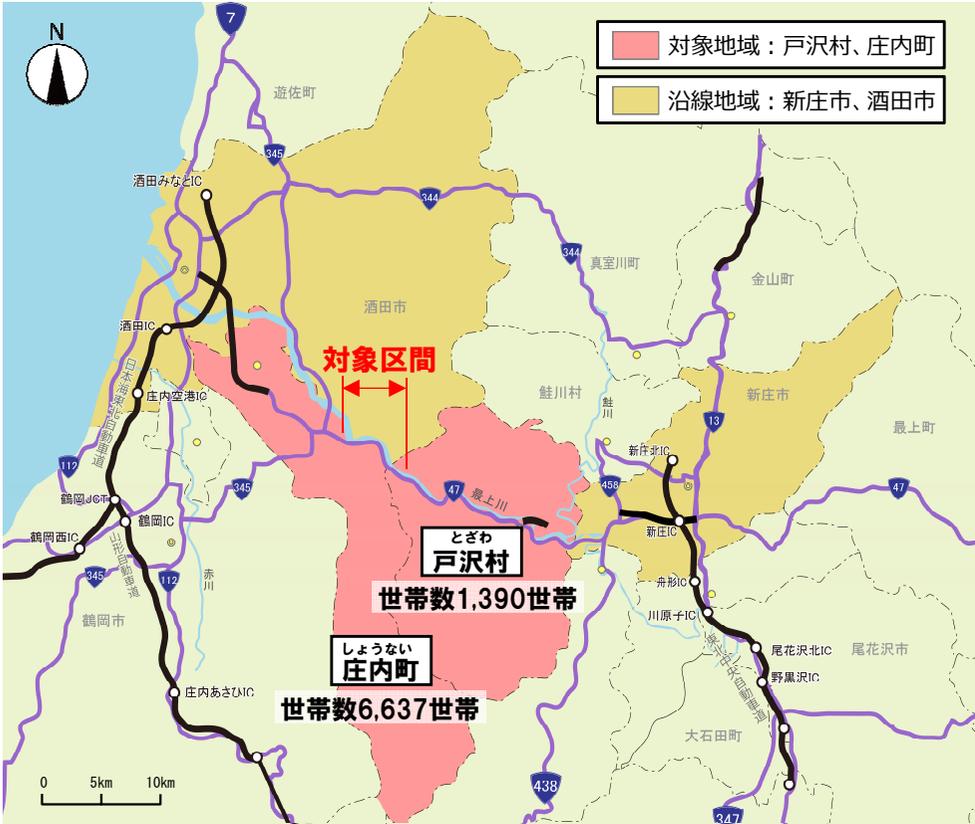
■アンケートによる意見聴取の対象(案)

調査対象者		調査手法・規模
地域住民	・戸沢村、庄内町	・全戸を対象とした郵送配布 (約8,000世帯)
沿線住民	・新庄市、酒田市	・抽出による郵送配布 (約8,000世帯)
事業所等	・当該区間を利用する物流業者 ・沿線の製造業事業所	・国道47号利用企業への郵送配布 (約140事業所) ・戸沢村、庄内町の製造業者への 郵送配布(約20事業所)
道路利用者	・広域の道路利用者	・Web ・留置き(市町村役場・文化施設・ 道の駅等)

■ヒアリング調査による意見聴取の対象(案)

関連団体ヒアリング調査：36社・団体(アンケート調査)		
<ul style="list-style-type: none"> ・自治体(2市1町1村) ・県(1県) ・消防機関(2団体) ・医療機関(3団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察機関(2団体) ・トラック協会(1団体) ・製造業者(9社) ・物流業者(5社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会(2団体) ・バス協会(1団体) ・バス事業者(3社) ・学校(3団体)

<アンケート配布範囲>



3. 地域への意向調査の周知方法

情報提供の項目
戸沢村、庄内町、酒田河川国道事務所、山形河川国道事務所のホームページに意向調査(Web)のバナーを設置
自治体の広報紙への掲載や酒田河川国道事務所HP等で幅広く広報を実施

4. 意見聴取期間

◇1ヶ月程度

5. 実施主体

◇国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所

6-2. 地域の意見聴取(第2回)資料案

チラシ表紙・裏表紙 (A3サイズ) : 調査概要・アンケートの流れ・回答例

裏面の内容をご確認頂き、回答を同封のはがきに記入をお願いします。

【回答例】

住民用

郵便はがき

料金受取人私郵便

998-8790

山形県酒田市上安町1-2-1

国土交通省 東北地方整備局
酒田河川国道事務所 調査第二課 行

山形県酒田市上安町1-2-1

※本アンケートでお答えいただいた意見及び個人情報、他の目的で利用したり、第三者に利用させたりすることは一切いたしません。

あはれについてお聞かせください ([] 内に記入または該当する番号に○)

郵便番号 [999-6601]

住所 [山形] 都・道・府・県
[庄内] 市・町・村
地区名 [狩川]

性別 1. 男性 2. 女性

年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

職業 1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 学生 5. 主婦・主夫
6. 無職 7. その他()

新庄酒田道路(戸沢~立川) アンケート調査 回答欄

問1. それぞれ該当するもの1つに○をつけてください。

A 利便目的	1	2	3	4	5	6	7
B 利便手段	1	2	3	4	5		
C 移動手段	1	2	3	4	5		

問2. 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。(3つまで)

- 冬期でも事故が少なく安全に走行できること
- 冬期でもすれ違いに不安のない十分な幅が確保されること
- 事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと
- 庄内地域へ最上地域間の所要時間が短くなること
- 急カーブがなく、安全・快適に走行できること
- 信号や沿道出入口が少なく、安定して走行できること
- 沿道集落への影響が少ないこと
- 自然環境への影響が少ないこと
- 工事に伴う規制の影響が少ないこと
- 建設費(税金での負担)が安いこと

問3. 重視すべきと思われる理由
問2で○をつけた項目について、その理由を、ご自由にお書きください。

問4. 他に重視すべきと思われること
問2で○をつけた項目以外で、重視すべきと思われることがあれば、ご自由にお書きください。

- 計画段階評価の詳細情報は「東北地方整備局酒田河川国道事務所のHP」へアクセス願います。
- インターネットによる回答を行う場合は、「新庄酒田道路 アンケート」で検索し、アンケートページへアクセス。またはQRコードからアクセスできます。また、酒田河川国道事務所HPにある右バーからアクセスできます。
- アンケートに関するお問い合わせ先
酒田河川国道事務所 調査第二課
TEL 0234-27-3494 FAX 0234-27-3914

新庄酒田道路 アンケート 見本

令和2年 2月9日 まで

酒田河川国道事務所



ご協力ありがとうございました

新庄酒田道路(戸沢~立川)の計画検討に関する 第2回アンケート調査

新庄酒田道路の計画に向けて みなさまのご意見をお聞かせください



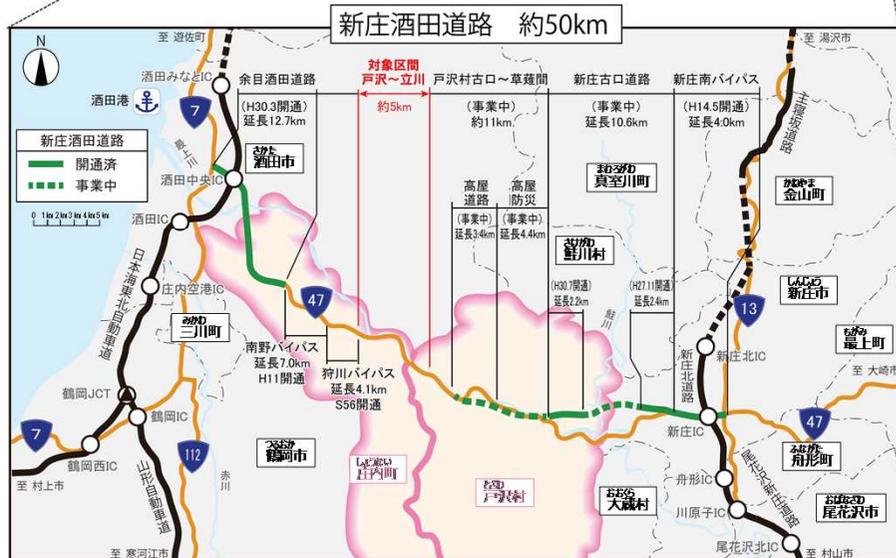
新庄酒田道路は、新庄市から酒田市に至る延長約50キロメートルの地域高規格道路です。

今回のアンケートは、戸沢村~庄内町間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見を伺うものです。

意見聴取は全部で2回行い、第1回(令和元年11月~令和2年2月)では、日頃感じている道路交通や地域の課題等についてご意見をいただきました。

今回(第2回)は、新庄酒田道路(戸沢~立川)の対策案を検討するにあたり、重視すべき事項についてご意見をお伺いさせていただきます。

なおご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。



国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所
酒田市 新庄市 戸沢村 庄内町

6-2. 地域の意見聴取(第2回)資料案

チラシ見開き (A3サイズ) : 第1回アンケート結果、ルート帯の概要

第1回アンケートの概要

● 対象区間の利用目的

〈住民・道路利用者〉 (N=576)

- ドライブレジャー: 57%
- 通勤・通学: 7%
- その他: 5%
- 利用しない: 4%
- 無回答: 3%

約6割が非日常利用

〈事業者〉 (N=72)

- 営業: 10%
- 通達・運搬: 82%
- 利用しない: 6%
- 無回答: 1%
- 従業員の通勤: 1%
- 仕事(営業・運送等): 14%

約8割が運送・運搬利用

● 対象区間の利用頻度

利用頻度	事業者(N=71)	住民(N=5474)
週に5回以上	7%	38%
週に1~2回	8%	1%
月に1~2回	7%	36%
年に数回	17%	11%
無回答	61%	8%

● 課題の認識

課題	住民・道路利用者	事業者
走行の安全性や快適性が低い	71%	90%
通行止め時の影響が大きく物流に不安がある	73%	96%
移動時間が長(観光関連に不便である)	50%	82%
患者の安静搬送に支障がある	67%	86%

対応方針案(ルート帯)の考え方

【案1】 バイパス案
(全線バイパス整備により、速達性の向上や走行環境の改善を図る案)

【案2】 現道改良・一部バイパス案
(現道改良を基本とし、速達性の向上や走行環境の改善を図る案(一部バイパス整備))

比較項目	【案①】バイパス案	【案②】現道改良・一部バイパス案
ルートの概要	バイパス整備により起終点を短く結び、現道課題の解消を図る案(全線別線・立体交差)	現道を局所改良し、現道課題の解消を図る案(現道改良・急峻地形・防災施設をきけて一部バイパス整備)
延長	約5 km	約7 km
設計速度	80km/h	60km/h
安全かつ快適な移動の実現	<ul style="list-style-type: none"> 事故の多い急カーブ(R=100m:2箇所、R=120m:1箇所)やスノーシェッド区間の回避により、事故の危険性が大きく軽減 狭小幅員や路面凍結の多い最上川沿いの回避により、冬の移動快適性が大きく向上 勾配は3.0%以下であり、冬の走行安全性(立ち往生回避)を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 事故の多い急カーブ(R=100m:2箇所、R=120m:1箇所)やスノーシェッド区間の回避により、事故の危険性が大きく軽減 狭小幅員の解消により、冬の移動快適性が向上 勾配は3.0%以下であり、冬の走行安全性(立ち往生回避)を確保
政策目標	<ul style="list-style-type: none"> 物流の安定的輸送の確保: 災害・事故による通行止め時の迂回路として、代替機能を確保 観光振興の支援: 別線整備でサービス速度が高く、速達性に優れる 安定した搬送ルートの確保: サービス速度向上により、患者の安静な搬送に大きく寄与 	<ul style="list-style-type: none"> 物流の安定的輸送の確保: 現状より広い幅員の確保により、全面通行止めリスクを緩和 観光振興の支援: 最上川沿いの観光資源へのアクセス性に優れる 安定した搬送ルートの確保: 急カーブ改良により、患者の安静な搬送に寄与
配慮すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境: 現道の交通量が減少するため、沿道環境が改善されるが集落からのアクセス性は劣る 自然環境: 全線新設のため、自然環境への影響や地形変化が大きい 工事の影響: 現道交通への影響はほとんどない 経済性: 整備に関する費用: 約200~240億円 	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境: 清川集落からのアクセス性に優れる 自然環境: 新設区間が短いため、比較的小さい 工事の影響: 長期間の交通規制が必要、現道交通への影響は大きい 経済性: 整備に関する費用: 約220~260億円

● 新たな道路整備の必要性

〈住民・道路利用者〉 (N=576)

- 必要を認識: 9割以上
- あまり思わない: 1%
- 全く思わない: 1%
- 無回答: 1%
- その他: 4%
- やや思う: 9%
- そう思う: 83%

〈事業者〉 (N=72)

- 必要を認識: 9割以上
- あまり思わない: 3%
- 全く思わない: 1%
- 無回答: 1%
- その他: 4%
- やや思う: 11%
- そう思う: 86%

● 主な意見・要望

- 早く安全に移動する役割を果たすためには、新庄酒田間を一気に事業化すべき。(新庄市住民)
- 事故や雨量制限で通行止めになることが多いが、迂回路がなく困っている。(戸沢村住民)
- 国道47号は原料や製品の輸送等、全ての命綱なので、通行止めの影響は大きい。(庄内町事業者)等

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

6-2. 地域の意見聴取(第2回)資料案

アンケート回答用紙 (A4サイズ) : アンケート・回答ハガキ

質問票
(回答はがきに記入をお願い致します)

より多くの方々のご意見をお聞きするため、アンケート回答はがきは各世帯に2枚送付しております。幅広い年齢層の方からご意見を伺いたため、**1枚目についてはご家族の中で誕生日が記入日に近い方、2枚目は他の家族の方に記入頂きますようご協力をお願いいたします。**

さらに、ご家族やお知り合いの方でご協力頂ける場合は、お手数ですが**アンケート票をお近くの市町村役場などにも設置しておりますので、そちらをご利用頂くか、インターネットからの回答も可能となっております。**

◆返信方法 ※以下のいずれかで返信をお願い致します。
 ①お近くの郵便ポストに投函をお願いします。
 ②酒田河川国道事務所、戸沢村・庄内町・酒田市・新庄市の市町村役場や公共施設、道の駅等の回収ボックスに投函をお願いします。

◆締切 令和2年●月●日までにお願い致します。

回答はがき
注) 回答用はがきは2枚あります。お一人様1枚ずつのご回答をお願い致します。

1枚目

郵便はがき

料金受取人私郵便

9 9 8 - 8 7 9 0

見本

山形県酒田市上安町1-2-1
国土交通省 東北地方整備局
酒田河川国道事務所 調査第二課 行

※本アンケートでお答えいただいた意見及び個人情報は、他の目的で利用したり、第三者に利用させたりすることは一切いたしません。

あなたについてお聞かせください ([] 内に記入または該当する番号に○)

郵便番号 []	住所 [] 都・道・府・県	性別	1. 男性	2. 女性	第1回アンケートへの回答	1. 回答した	2. 回答していない						
住所 [] 市・町・村	地区名 []	年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上				
職業		1. 会社員						2. 公務員	3. 自営業	4. 学生	5. 主婦・主夫	6. 無職	7. その他()

2枚目

郵便はがき

料金受取人私郵便

9 9 8 - 8 7 9 0

見本

山形県酒田市上安町1-2-1
国土交通省 東北地方整備局
酒田河川国道事務所 調査第二課 行

※本アンケートでお答えいただいた意見及び個人情報は、他の目的で利用したり、第三者に利用させたりすることは一切いたしません。

あなたについてお聞かせください ([] 内に記入または該当する番号に○)

郵便番号 []	住所 [] 都・道・府・県	性別	1. 男性	2. 女性	第1回アンケートへの回答	1. 回答した	2. 回答していない						
住所 [] 市・町・村	地区名 []	年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上				
職業		1. 会社員						2. 公務員	3. 自営業	4. 学生	5. 主婦・主夫	6. 無職	7. その他()

質問票
(回答はがきに記入をお願い致します)

問1 国道47号(検討区間)の道路利用について、お伺いします。(それぞれ当てはまるものひとつに○を付けてください)

A 利用目的 (主なものを2つに○)	1. 通勤・通学	2. 通院	3. 家事・買物	4. 仕事(営業・運送等)	
B 利用頻度 (ひとつに○)	1. 週に5回以上	2. 週に3~4回	3. 週に1~2回	4. 月に1~2回	
C 移動手段 (主なものをひとつに○)	1. 自動車	2. 公共交通(バス・タクシー)	3. バイク	4. 自転車	5. 徒歩

問2 対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。

1. 冬期でも事故が少なく安全に走行できること	6. 信号や沿道出入りが少なく、安定して走行できること
2. 冬期でもすれ違いに不安のない十分な幅が確保されること	7. 沿道集落への影響が少ないこと
3. 事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと	8. 自然環境への影響が少ないこと
4. 庄内地域~最上地域間の所要時間が短くなること	9. 工事に伴う規制の影響が少ないこと
5. 急カーブがなく、安全・快適に走行できること	10. 建設費(税金での負担)が安いこと

問3 問2でチェックした項目について、そう思われる理由について、ご自由にお書きください。

問4 問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることがありましたら、ご自由にお書きください。

2枚目

新庄酒田道路(戸沢~立川) アンケート調査 回答欄 **住2**

問1. それぞれ該当するもの1つに○を付けてください。

A 利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
B 利用頻度	1	2	3	4	5		
C 移動手段	1	2	3	4	5		

問2. 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。(3つまで)

1. 冬期でも事故が少なく安全に走行できること	2. 冬期でもすれ違いに不安のない十分な幅が確保されること
3. 事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと	4. 庄内地域~最上地域間の所要時間が短くなること
5. 急カーブがなく、安全・快適に走行できること	6. 信号や沿道出入りが少なく、安定して走行できること
7. 沿道集落への影響が少ないこと	8. 自然環境への影響が少ないこと
9. 工事に伴う規制の影響が少ないこと	10. 建設費(税金での負担)が安いこと

問3. 重視すべきと思われる理由
問2でチェックした項目について、おられる理由について、ご自由にお書きください。

問4. 他に重視すべきと思われること
問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることがありましたら、ご自由にお書きください。

1枚目

新庄酒田道路(戸沢~立川) アンケート調査 回答欄 **住1**

問1. それぞれ該当するもの1つに○を付けてください。

A 利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
B 利用頻度	1	2	3	4	5		
C 移動手段	1	2	3	4	5		

問2. 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。(3つまで)

1. 冬期でも事故が少なく安全に走行できること	2. 冬期でもすれ違いに不安のない十分な幅が確保されること
3. 事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと	4. 庄内地域~最上地域間の所要時間が短くなること
5. 急カーブがなく、安全・快適に走行できること	6. 信号や沿道出入りが少なく、安定して走行できること
7. 沿道集落への影響が少ないこと	8. 自然環境への影響が少ないこと
9. 工事に伴う規制の影響が少ないこと	10. 建設費(税金での負担)が安いこと

問3. 重視すべきと思われる理由
問2でチェックした項目について、おられる理由について、ご自由にお書きください。

問4. 他に重視すべきと思われること
問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることがありましたら、ご自由にお書きください。